

第五十九回 帝國議會 貴族院 地租法案特別委員會議事速記錄第四號

昭和六年三月十四日(土曜日)午前十時十

四分開會

○副委員長(男爵阪谷芳郎君) ソレデハ今

日ハ委員長ガ少シ御出席ガ遲レルサウデスカラ、私ニ代理シテ吳レト云フコトデゴザイマスカラ、只今カラ開會イタシマス、井上男爵ハ海軍大臣ガ御出ニナッテカラ、御質問ニナリマスカ、大藏大臣ガ居ラレマスカラ續イテ御質問ニナリマスカ

○男爵井上清純君 大藏大臣ガ見エテ居ラレマスカラ、大藏大臣ニ御尋不致シマスガ、此回ノ減稅ノ財源ニ付テデアリマスガ、此五億八百万圓ハ、他ノ委員ノ御方カラ御質問ガアツカモ知レマセヌデアリマスルガ、自分ハ今回初メテ出席シタモノデアリマスカラ、重ネテ御尋ネスルコトニシタイノデゴザイマス、五億八百万圓ト云フモノハ留保セラレテ居ツタ、私ノ考ヘマスル所ニ依ルト、此五億八百万圓ト云フモノハ、恰モ昭和六年度カラ、補助艦ノ代換建造計畫ヲ立てテナケレバナラヌ時機ニモナッテ居ルシ、又華盛頓條約ニ於ケル所ノ主力艦代艦ヲ六年度カラ建造シナケレバナラヌ時機ニモ際會シテ居ルカラ、相當ニ準備ヲシテ置カナケ

レバナラヌト云フ議論ガ出マシテ、確カ前前内閣ノ頃、濱口大藏大臣ノ時代ニ、相當ナ金ヲ留保シテ置クコトニ御決メニナッタ

ヤウニ記憶シテ居ルノデアリマス、爾來此前ノ内閣ノ時ニ地租委讓ニ關聯シマシテ再び其額ヲ殖ヤスコトヲ、三主大藏大臣ガ、

貴族院ノ議ヲ容レラレテ殖ヤサレタモノダト思フノデアリマス、丁度今迄ハ大藏大臣モ御存ジノ通リニ、海軍ノ攻防力維持ノ爲ニ、約八千八百万圓程度ノ造艦費用ヲ毎年御使ヒニナッテ來テ居ルノデアリマシテ、先ヅ

均八千五百万圓程度ノ留保ヲサレタラバ適當デアラウト云フ御考ノ下ニ、其六年分ノ

五億八百万圓ト云フモノヲ留保セラレルコトニナッタ思フノデアリマス、ソレデアリマス

○國務大臣(井上準之助君) 大體御質問ノ

トニナッタ思フノデアリマス、ソレデアリ

六年度ニ於キマシテ、華盛頓會議其他ガ假ニ關係ナイモノト致シマシテモ、海軍ノ補助艦艇ノ製造ガ、大體昭和六年度デ終リマス

計畫ニナッテ居リマス、ソコデ昭和六年カラ始マリマシテ、昭和十一年度マデノ間ニ

マスルカラ、此五億八百万圓ト云フモノハ、

助艦艇ノ製造ガ、大體昭和六年度デ終リマス計畫ニナッテ居リマス、ソコデ昭和六年カラ始マリマシテ、昭和十一年度マデノ間ニ

五億八百万圓ガ留保シテアリマス、ソレハ只今井上男爵ノ御尋ノ如ク主力艦ノ代艦ノ建造、補助艦ノ建造ト云フ、所謂艦艇ノ製

造ノ爲ニ留保シテアッタノデアリマスガ、

ソレナラバ年度割ガ出來、又艦種ニ付テモ

併シ留保ト申シマシテモ、繼續費デナインデアリマスカラ、言ハバ大藏大臣ガ先ニ之ヲ取ラレル、所謂先取權ヲ持ツヤウナ意味合ノ留保ダト承知シテ居ルノデアリマス、甚

ダ考ヘニクイ留保デアリマスルケレドモ、

サウ云フ意味合ノ留保デアリマシテ、現金

ガソコニアル譯デモナイ、六年度ノ豫算ヲ編成セラレル場合ニ於テ、其留保ガ始マル

モ御存ジノ通リニ、海軍ノ攻防力維持ノ爲ニ、約八千八百万圓程度ノ造艦費用ヲ毎年御使ヒニナッテ來テ居ルノデアリマシテ、先ヅ

六年度カラ十一年度ニ掛ケマシテ、毎年平均八千五百万圓程度ノ留保ヲサレタラバ適

當デアラウト云フ御考ノ下ニ、其六年分ノ

五億八百万圓ト云フモノヲ留保セラレルコトニナッタ思フノデアリマス、ソレデアリマス

○伯爵柳澤保惠君委員長席ニ就ク

〔伯爵柳澤保惠君委員長席ニ就ク〕

六年度ニ於キマシテ、華盛頓會議其他ガ假ニ關係ナイモノト致シマシテモ、海軍ノ補

助艦艇ノ製造ガ、大體昭和六年度デ終リマス

計畫ニナッテ居リマス、ソコデ昭和六年カラ始マリマシテ、昭和十一年度マデノ間ニ

五億八百万圓ト云フモノハ現金ガ貯ヘテア

ル譯デモ何デモナシニ、即チ昭和五年度ニ

立テマシタ場合ニハ、昭和五年度ノ歳入ガ

アルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、

五億八百万圓ト云フモノハ現金ガ貯ヘテア

相當ノ交渉ガアッテ、五億八百万圓ト云フモノヲ留保シタノデアルカト云フ御尋ニナリマスト、海軍ニハ必ズアッタラウト思ヒマス、大藏省ノ方ト交渉シタ意味ニ於キマシテハ、左様ニ的確ニハ出來テ居ラナカッタ

ノデアリマス、ソレカラ五億八百万圓ノ留保ト云フ性質ハ、御手許ニ差出シテアリマス、大藏省ノ立テ方ハ恒ノデアリマス、斯様ナ意

ノデアラウト思フノデアリマス、斯様ナ意

テハ、左様ニ的確ニハ出來テ居ラナカッタ

ノ方ガソコニアル譯デモナイ、六年度ノ豫算ヲ編成セラレル場合ニ於テ、其留保ガ始マル

モ御存ジノ通リニ、海軍ノ攻防力維持ノ爲ニ、約八千八百万圓程度ノ造艦費用ヲ毎年御使ヒニナッテ來テ居ルノデアリマシテ、先ヅ

六年度カラ十一年度ニ掛ケマシテ、毎年平均八千五百万圓程度ノ留保ヲサレタラバ適

當デアラウト云フ御考ノ下ニ、其六年分ノ

五億八百万圓ト云フモノヲ留保セラレルコトニナッタ思フノデアリマス、ソレデアリマス

○國務大臣(井上準之助君) 大體御質問ノ

トニナッタ思フノデアリマス、ソレデアリ

六年度ニ於キマシテ、華盛頓會議其他ガ假ニ關係ナイモノト致シマシテモ、海軍ノ補

助艦艇ノ製造ガ、大體昭和六年度デ終リマス

計畫ニナッテ居リマス、ソコデ昭和六年カラ始マリマシテ、昭和十一年度マデノ間ニ

五億八百万圓ト云フモノハ現金ガ貯ヘテア

ル譯デモ何デモナシニ、即チ昭和五年度ニ

立テマシタ場合ニハ、昭和五年度ノ歳入ガ

アルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、

五億八百万圓ト云フモノハ現金ガ貯ヘテア

ル譯デモ何デモナシニ、即チ昭和五年度ニ

云フモノハサウ云フ性質ニナッテ居リマス、サウイタシマシテ、昭和六年度ニハ只今申トデ、僅カ千八百万圓ガ留保シテアリマシテ、昭和十一年度ニハ大凡一億二千万圓ノ金ガ留保シテアルノデ、ソレヲ縦ニ合計イタシマシタ場合ニ五億八百万圓トナルノデアリマス、サウ御答ヘ申上ゲテ宜シカラウカト思ヒマス

○男爵井上清純君 五億八百万圓ノ出所ニ付キマシテ了解シタノデアリマス、其五億

八百万圓ノ中カラ今回倫敦條約ノ結果ニ依リマシテ、其補充計畫ノ爲ニ三億七千四百圓ト云フモノヲ取去ラレタ後ノ餘財ヲ以テ、減稅ノ財源ニ御使ヒナサル御豫定ノヤウデアリマスルガ、今回ノ補充計畫ノ中ニ合計五千万圓ト云フモノガ出テ居ルノデアリマス、其五千万圓ト云フモノハ、全ク此五億八百万圓以外ノ財源カラ出タモノニアルノデアリマシテ、ソレハ航空隊二隊ノ建造費竝ニ維持費ノ外、十四隊ノ維持費ガ舍マレテ居ルノデアリマス、サウ云フ補充計畫ニ屬スルモノヲ、何故ニ此五億八百万圓ノ財源ノ中カラ御取リニナラナイデ、他ノ

財源カラ御取リニナッテ居ルノデアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス  
○國務大臣(井上準之助君) ソレハ斯ウ云フ儀デゴザイマス、御質問ノ通りニ、十二年ニ二千五百万圓、十三年ニ二千五百万圓ノ航空隊ノ製造費、維持費ガアリマス、ソレハ海軍ニ於キマシテ、強チシモ十一年以前ニ此二隊ヲ拵ヘル必要ガナイ、斯ウ云フコトデ、十二年十三年ニ拵ヘレバ十分デアル、斯シ云フコトガ決定イタシマシタ以上ハ、十二年十三年ニ其金ヲ要シマスカラ、其年ノ歲計カラソレヲ捻出スレバ宜イノデゴザイマス、又維持費モ十二年後ニ瓦リマス維持費ト云フモノハ、苟モ航空隊ガ現在ノ隊數アル以上ニハ永久ニ其金ヲ必要トスガアラン限リニハ、永久ニ其金ハ要ルノデアリマシテ、之ヲ留保財源カラ其方ニ振向ケルト云フコトハ、是迄ノ財政計畫ノ立テ方デ左様ニシテ居リマセヌ、即チ十二年後ニ要ル金ハ十二年後ニ捻出スルト云フコトデ、財政計畫ニソレダケガ這入シテ居ル次第デゴザイマス

○男爵井上清純君 繢イテ伺ヒマスガ、第一ノ補充計畫ノ外ニ第一次補充計畫ノ必要ナルコトハ、政府ノ諸公ノ認メラル所デアリマス、第一次、第二次補充計畫ヲ併セテ海軍ノ補充計畫トナッテ居ルモノダト承知シテ居タノデアリマス、唯財政ノ都合、内閣ノ御都合ニ依リマシテ、之ヲ唯單ニ便前ニ此二隊ヲ拵ヘル必要ガナイ、斯ウ云フコトデ、十二年十三年ニ拵ヘレバ十分デアル、斯シ云フコトガ決定イタシマシタ以上ハ、十二年十三年ニ其金ヲ要シマスカラ、其年ノ歲計カラソレヲ捻出スレバ宜イノデゴザイマス、又維持費モ十二年後ニ瓦リマス維持費ト云フモノハ、苟モ航空隊ガ現在ノ隊數アル以上ニハ永久ニ其金ヲ必要トスガアラン限リニハ、永久ニ其金ハ要ルノデアリマシテ、之ヲ留保財源カラ其方ニ振向ケルト云フコトハ、是迄ノ財政計畫ノ立テ方デ左様ニシテ居リマセヌ、即チ十二年後ニ要ル金ハ十二年後ニ捻出スルト云フコトデ、財政計畫ニソレダケガ這入シテ居ル次第デゴザイマス

○男爵井上清純君 繢イテ伺ヒマスガ、第一ノ補充計畫ノ外ニ第一次補充計畫ノ必要ナルコトハ、政府ノ諸公ノ認メラル所デアリマス、第一次、第二次補充計畫ヲ併セテ海軍ノ補充計畫トナッテ居ルモノダト承知シテ居タノデアリマス、唯財政ノ都合、内閣ノ御都合ニ依リマシテ、之ヲ唯單ニ便前ニ此二隊ヲ拵ヘル必要ガナイ、斯ウ云フコトデ、十二年十三年ニ拵ヘレバ十分デアル、斯シ云フコトガ決定イタシマシタ以上ハ、十二年十三年ニ其金ヲ要シマスカラ、其年ノ歲計カラソレヲ捻出スレバ宜イノデゴザイマス、又維持費モ十二年後ニ瓦リマス維持費ト云フモノハ、苟モ航空隊ガ現在ノ隊數アル以上ニハ永久ニ其金ヲ必要トスガアラン限リニハ、永久ニ其金ハ要ルノデアリマシテ、之ヲ留保財源カラ其方ニ振向ケルト云フコトハ、是迄ノ財政計畫ノ立テ方デ左様ニシテ居リマセヌ、即チ十二年後ニ要ル金ハ十二年後ニ捻出スルト云フコトデ、財政計畫ニソレダケガ這入シテ居ル次第デゴザイマス

○男爵井上清純君 繢イテ伺ヒマスガ、第一ノ補充計畫ノ外ニ第一次補充計畫ノ必要ナルコトハ、政府ノ諸公ノ認メラル所デアリマス、第一次、第二次補充計畫ヲ併セテ海軍ノ補充計畫トナッテ居ルモノダト承知シテ居タノデアリマス、唯財政ノ都合、内閣ノ御都合ニ依リマシテ、之ヲ唯單ニ便前ニ此二隊ヲ拵ヘル必要ガナイ、斯ウ云フコトデ、十二年十三年ニ拵ヘレバ十分デアル、斯シ云フコトガ決定イタシマシタ以上ハ、十二年十三年ニ其金ヲ要シマスカラ、其年ノ歲計カラソレヲ捻出スレバ宜イノデゴザイマス、又維持費モ十二年後ニ瓦リマス維持費ト云フモノハ、苟モ航空隊ガ現在ノ隊數アル以上ニハ永久ニ其金ヲ必要トスガアラン限リニハ、永久ニ其金ハ要ルノデアリマシテ、之ヲ留保財源カラ其方ニ振向ケルト云フコトハ、是迄ノ財政計畫ノ立テ方デ左様ニシテ居リマセヌ、即チ十二年後ニ要ル金ハ十二年後ニ捻出スルト云フコトデ、財政計畫ニソレダケガ這入シテ居ル次第デゴザイマス

コトニナリマスノデ、財政ノ當局者トシテハ一日モ忽セニ此コトヲ考ヘルコトハ出來ヌノデ、外國ノ狀態ヲ見テ、ソレニ應ジテ常ニ海軍ノ當局者ト相提携シテ、財源ノコトニ付テハ大ニ考ヘナキヤナラヌト云フコトハ、是ハモウ當然ノ理デアリマスガ、今的確ニ斯ウシテ財源ヲ求メマスト斯ウ云フコトノ考ハ持ツテ居リマセヌ、併ナガラ國防ニ缺陷ガアルト云フコトヲ認メ、又外國ノ態度如何ニ依リマシテハ、ソレハモウ國ト債モ已ムヲ得ナイト云フコトハ、是ハ日本致シマシテ、私ハ増稅モ已ムヲ得ナイ、公國民ノ性質トシテハ當然ノ儀デアラウト考ヘテ居リマス」、既ニ其必要ヲ認メラレ希望モ認メラレテ、持ツテ居ラレルノデアリマス、然ラバ國防ノ爲ニハ財源ヲ取ツテナイト云フコトデアレバ、增稅サレルカ、或ハ公債ヲ發行サレルモノト考ヘマスルガ、第ニ補充計畫ニ付テハ斯様ニシテ實現サレル思召デアリマセウカ、ハキリト承ハリタイ

○國務大臣(井上準之助君) 只今速記録ヲ御朗讀サレタ通リニ、今日デモ考ヘテ居リマスカラ、希望モアリ必要モ認メテ居ルノデ、假ニ今日ノヤウナ情勢デ參リマシタナラバ、其金額ガエライ多額ニモ上リマスマ

ノ状態ニナリマスカ知リマセヌガ、假ニ相手方ノ状態ガ日本ヲシテ總テノ權利ヲ行使セネバナラヌ、又所謂條約以外ノモノニ於テモ大ニ擴張シテ之ニ應ジナケレバナラメト云フヤウナ場合ヲ想像イタシマンテ、其場合ニ我ミハ常ニ注意シテ財源ノコトヲ考ヘテ置カナケレバナリマセヌガ、其場合ニ外國ノ状態ニ依ツテ日本ノ國防ニ缺陷ガアルト、ソレデモ金ガナイト、斯ウ云フコトヲ想像イタシマシタナラバ、私ハ阪本男爵ニ申上ゲタヤウニ、如何ナル方法ニ依ツテモ國ノ國防ニ缺陷ナカラシムルヤウニハ努メナケレバナラヌコトハ、當然ノ儀ト考ヘテ居リマス

○男爵井上清純君 基ダ長イコト質問シテ相濟マナイノデアリマスガ、關係事項デアリマスカラ、引續イテ海軍大臣ニ御尋ラシタイノデアリマス、此第二次計畫ト云フモノヲ第一次計畫ト併セマシテ、始メテ完全ナル計畫ガ成立ツノデアリマセウカ、實ハ此點ニ付テハ昨日餘り長ク述べ過ギタヤウナ點モアタノデアリマスガ、私ハ實ニ之ヲ疑フノデアリマス、昨年米國案ニ依ツテ回訓案ガ出サレタ當時、時ノ軍令部長加藤大將

ハ其米國案ニ依ツテノ國防計畫ハ成立タヌモノデアルト云フコトヲ上奏モサレ、其コトヲ中外ニ聲明サレタノデアリマス、其米國案ト云フモノニ依ツテ今日ノ條約ハ結バレシマタノデアリマスカラ、謂ハマ倫敦條約ノ兵力量ヲ以テシテハ、國防ヲ全ウス固コトガ出來ナイノデアル、國防計畫ヲ安ス、爾來御批准ノコトニナリマシテ、其際ウシテ之ヲ新聞ニ公表サレタノデアリマス、爾來御批准ノコトニナリマシテ、其際ニ於テ軍事參議院ハ屢々正式ノ會議ヲ開カレテ、サウシテ其結果ヲ奉答文ニ認メラレテ、上聞ニ達シテ居ルコトハ、是亦周知ノ事實デアリマス、一體斯ノ如ク海軍軍令機關ガ心配シタノハ、僅カ五億万圓トカ六億萬圓トカ云フ金ヲ以テ購フコトガ出來ヌサウ云フ缺陷ヲ心配サレタノデアリマス、其金デハ購フコトガ出來ナイカラ、茲ニ大キナ波紋ヲ投ジタノデアルカト思フノデアリマス、十億圓ヲ投ジテモ、此缺陷ハ救フコトガ出來ナイト云フヤウナ、サウ云フ大キナ缺陷ヲ何故ニ之ヲ生ジタカ、是ハ昨日來縷々申上ゲタ通リニ、軍隊ノ編制權ニ觸レテ政治家ガ獨斷專行ヲヤラレタ爲ニ、内容

ニシテ軍事最高機關ガ僅カ三億七千万圓、其  
内容ハ何カト云ヘバ、驅逐艦ガ十二隻、敷設  
艦ガ一隻、巡洋艦ガ四隻、水雷艇ガ四隻、掃  
海艇ガ三隻ソニナヤウナモノデ補フコトガ出  
来ルト云フヤウナ程度ヲ、何故ニシテアンナ  
大キナ問題ヲ起サレテ國論ヲ沸騰サセテ、サ  
キナ問題ヲ起サレテ國論ヲ沸騰サセテ、サ  
ウシテ内閣ノ壽命スラモ脅カサレタ所ノ海  
軍首腦部ト云フモノハ、非常ニ誤タモノ  
デナケレバナラスト思フノデアリマス、其  
首腦部ヲ其儘ニサレテ、サウシテ此補充計  
畫ハ其儘テ宜イト仰シヤルコトデアレバ、  
國民ハ惑ハナイ譯ニ參ラヌノデアリマス、  
延イテハ海軍ト云フモノノ國防ニ對スル信  
念ヲ國民ハ疑ハナイ譯ニ參ラナイノデアリ  
マス、斯ノ如クニシテ信念ナキ所ノ國防計  
畫デアリマスルナラバ、私共ハ何モ第一次  
補充計畫ナドハ協贊ハ興ヘナイノデアリマ  
ス、世ノ中ニ戰シテ當然負ケルト云フヤウ  
ナ失敗ノ軍備ホド不經濟ノモノハナイノデ  
アリマス、ソンナ無用ナモノハ全部御止メ  
ニナツカ方ガ宜カラウト思ヒマス、モット理  
窟ガ合ツタモノデナケレバ、我ミハ協贊ヲ申  
上ゲルコトガ出來ヌト云フコトハ、過日豫  
算委員會ノ席上ニ於テ縷々私ハ申述ベタノ

デアリマス、其結論トシテ海軍大臣モ御承知ノ通り決議案ト云フモノガ出タノデアリマス、其決議案ノ説明ハ、主査カラ細カクサレタノデアリマスカラ、今再ビ茲ニ申上ゲル必要ハナインデアリマスルケレドモ、アノ意味合ハ最モ簡単ニ籠メテアリマスルケレドモ、其意味合ハ申スマデモナク、倫敦條約デ残サレタル所ノ権利行使ヲ實現スル爲ニハ、財政上前途甚ダ憂フベキモノガ有ルノデアル、政府ハ宜シク既定國防方針ニ基キ作戦計畫ヲ維持遂行スル上ニ於テ萬全ノ……遺憾ナカラムコトヲ希望シタ譯デアリマス、即チ今ハ第二次計畫ガ甚ダ危イモノニナッテ居ルノデアリマス、是ガ支障ナク第一次補充計畫ダケデ以テ十分デアルト云フナラバ、私共ハ之ヲ歓迎シナイ譯ニハ參ラヌノデアリマス、僅カナ費用デ以テ國防ヲ完ウスルコトガ出來ル、是ホド喜バシイコトハナインデアリマス、併ナガラ第ニ次計畫ノ必要ヲ認メラテ居リ、又其希望ヲ有シテ居ラレル、然ラバ其第二次補充計畫ガナカッタナラバ、國防ニ缺陷ヲ生ズルモノデアルト思フノハ道理デアリマス、其國防ヲ補充スル所ノ第二次補充計畫ノ實現ニ向シテハ、貴族院ハ默々テ居ル譯ニハ參ラヌノデアリマス、ドウシテモ希望條件トシ

トデアリマシテ、此決議タルヤ誠ニ簡單ナモノデアリマスルケレドモ、意味ハ深長ニアリマス、ソレハ語ヲ換ヘテ言ヘバ、第二回補充計畫ヲ十一年度前ニ實現スルコトニ向クテ、萬運算ナキコトヲ望ム決議案デアッタノデアリマス、其事ハ十分ニ海軍大臣ハ御承知デアリ、又今マデノ經緯カラ存ジテ居ラナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ昨日來、第二次補充計畫ハ外國ノ狀態ヲ見テカラ決メルノダ、今内容ハ決マッテ居ラヌト云フコトヲ御申シニナッテ居ルガ、決マッテ居ラナイノデアリマスカ、果シテ先達テ衆議院ノ委員會ノ席上ニ於テ經理局長ハ……或ハ研究會ノ調査部ノ席上ニ於テデアリマスルカ、加藤經理局長ハ、是ハ昭和九年度カラ始メルノダ、内容モ云ミダト、其概略ヲ申述ニナッタヤウデアリマス、モウ海軍デハチヤント艦種ノ名前、ソレカラ隻數モチヤント決マッテ居ル譯デアル、然ルニ政治家ノ御考カラ、即チ此倫敦條約ガ成功デアルカ不成功デアッタカト云フ「パロメータ」見タイナ……其減稅財源ガ有ルカ無イカニ依クテ、此倫敦條約ノ成否ガ岐レルノデアリマスカラ、若モ是ガ不成功デアッタト云フコトデアッタナラバ、内閣ニ關スル

コトガ非常ニ多イノデアリマスカラ、ソコ  
デ此第ニ次補充計畫ノ避クヘカラザルコト  
ハ、萬人ノ認メル所デアリマス、然ルニ外  
國ノ狀態ヲ見ナケレバ、具體案ガ出來ナイ  
ト云フヤウナコトヲ海軍當局者マデガ仰セ  
ニナルト云フコトハ、私ハドウシテ不可解  
デアリマス、是ハ心ニモナイコトヲ仰セニ  
ナッテ居ルモノト私ハ固ク信ジマス、尙且ソ  
レデ宜シイノデアリマスルカ、海軍大臣カ  
ラ御信念ノ程ヲ御披瀝ヲ願ヒタイ

云フコトニ付キマシテハ、毎度申上ゲマス  
ルヤウニ、國防上必要トスル兵力ノ骨幹ナ  
ルモノハ漏レナク網羅ヲシタノデアルカ  
ラ、當面ノ情勢ニ於テ是ガ成立チマスレバ、  
國防上不安ナイモノト認メマスルト云フコ  
トハ、幾度カ申上ゲタ通りデアリマシテ、  
井上男爵ハ今度ノヤウナモノデハ到底イケ  
ナイ、斯ウ云フコトデ、サウシテ加藤前軍  
令部長ノ奏上サレタ内容、或ハ軍事參議院  
ノ奉答文ノ内容ノコトヲ、斯ウダラウア、  
グラウト云フヤウナ御推察ニナッテノ、段々  
御議論ガアリマシタコト承知イタシタノ  
デアリマスルガ、是ハソレガ當テ居ル、當  
ラスト云フコトヲ茲デ私ハ色ミ御話合ヲ致  
スコトハ避ケタイト存ジマスルガ、要スル  
ニ海軍當局ト致シマシテ軍令部トノ間ニ十  
分ニ熟議ヲ遂ゲマシテ提出ヲ致シマシタノ  
ガ、此度ノ計畫デアリマシタ、此度ノ計畫  
ハ決シテ不用ノモノデアッテコンナモノデ  
國防ガ完ウ出來ナイト云フヤウナ意味ノモ  
ノデハ斷ジテナイノデゴザイマス、サウシ  
テ是ガ第二次計畫トノ關係ト云フコトニ付  
テ御話ガアリマシタ、昨日モアリマシタノ  
デ御答ヲ致シマシタガ、凡ソ從來海軍計畫  
ヲ致シマスル場合ニ、海軍當局トシテ、或  
ル一ツノ案ヲ以テ大藏當局トモ折衝ヲシ、

内閣ニモ提出シテ、ソレゾレ詮議ヲ重ネテ  
貰フト云フコトニナリマスル場合ニ、是ダ  
ケノ兵力ヲ是非トモ必要トスルト云フ或ル  
ハ財政當局ハ打合セラレテ、茲數年ノ間ハ  
是ノ計畫デ行カウト云フ最後ノ決定ヲ見ル  
マデニハ、ソコニ、幾多ノ曲折ノアルコト  
ハ當然ノコトデアリマスルガ、併ナガラ既  
ニ茲ニ或ル計畫ガ決リマシタ以上ト云フモ  
ノハ、其以外ニ若干ノモノガ必要ガアリト  
致シマシテモ、是ハ直グ其時ニ必要ガアル  
ト云フモノデナケレバ、又若十年ノ後ニ計  
畫ヲ立テ差支ナイト云フモノハ、ソレハ  
今カラ何ガ何艘何ガ何艘ト云フコトデ決メ  
テ置クベキ性質ノモノデハナイノデアリマ  
ス、是ハ又軍令當局モ更リマセウシ海軍當  
局モ更リマセウ、何時マデモソレヲ束縛ス  
ルト云フ意味ニハナリ得ナイノデアリマ  
ス、當然其場合ニ最モ適切ナ兵力ヲ構成シ  
テ、之ヲ計畫トシテ國防ノ案ヲ立テナケレ  
バナラヌト云フコトハ當然ナ事柄デアルノ  
デアリマス、外國ノ状況ヲ見テ初メテ作ル  
ト云フヤウナコトデハイカヌト云フコトヲ  
繰返シ仰ゼデゴザイマシタケレドモ、毎度  
申上ゲマスルヤウニ、所謂守勢作戦ニ於テ  
相手ノ者ガドウ云フ兵種ヲ以テドウ云フ風

ニ現ハレテ來ルカト云フコトヲ見究メテ、ソレノ兵種ニ應ズル又一種ノ特徴ノモノヲコチラデ用意スルト云フコトハ、十分相對的軍備ヲ備ヘル上ニ、當然ナヤリロデアル譯デアル、全部ト云フノデアリマセヌケレドモ、或ルモノニ依テハドウシテモサウ云フ風ナ意味ニナル譯デアリマシテ、茲ニ此度ノ計畫ヲ一應立テマシテ、次ニ起ルベキ計畫ト云フモノニ付キマシテノ其内容ハ、倫敦條約ノ上カラ言ヒマスレバ、マダ權利ヲ全部行使スルニハ、何ガ何艘何ガ何艘残テ居ルト云フコトハ申上ゲ得ラレヌ譯デアリマスルケレドモ、其中ノドレラ何時カラ著手スル、或ハ驅逐艦ノヤウナモノヲ止メテ、其頃數ヲ巡洋艦ニ廻ハス方ガ更ニ適切ナ國防ガ出來ルヤ否ヤト云フヤウナ問題ノコトハ、ドウシテモ是ハ今後ニ研究シナケレバナラヌ問題デアル譯デアリマスカラ、サウ云フヤウナ意味ヲ加味イタシマシテ、矢張リ此外國ノ海軍軍備ノ行キ方ヲ見、又行使セムトシツツアルカヲ全ク見ズニ、自分ハ自分サヘヤレバ宜イト云フヤウナ意味ニハ進ミ難イグラウト考ヘテ居ル譯デアリマス、從ラテ此度ノ計畫ト云フモノニ、更ニ加フルニ第二次ト云フモノガ加ハラナケレ

70

云フモノハ、今日確定的ニ決マッテ居ル譯デ  
ハナイノデアリマシテ、當面ノ情勢ニ於テ  
ハ此度ノ計畫ヲ以テ國防上不安ナイト云フ  
コトヲ申上ゲマスル次第アリマス、左様  
御諒承願ヒタイ

○男爵井上清純君 重ネテ御尋ヲ致スノデ  
アリマスガ、只今外國ノ情勢ヲ見テカラ決  
メルノガ正シイ方法デアルト云フ御説明デ  
アリマシタ、如何ニモ平生ノ補充計畫ヲ御  
立テニナル場合ニ於テハ其通りデアラウト  
思フノデアリマス、併ナガラ此度ノ第二次  
補充計畫ト云フモノハサウ云フ意味合ヂヤ  
ナイノデアリマシテ、條約上ノ權利ノ行使  
デアリマス、何故ニシテサウ云フ權利ヲ有<sup>タ</sup>  
タカ云ヘバ、必要ムヲ得ナイ權利ヲ有<sup>タ</sup>  
ンデアル、一體倫敦條約ニ於テ帝國ハ相當  
ノ造艦權利ヲ有チ得タノデアリマスケレド  
モ、其有<sup>タ</sup>所ノ權利ヲ行使シマシテモ、既  
定ノ國防方針ニ基ク作戰遂行上…作戰計  
畫ヲ遂行シ維持スル上ニ於テ、兵力量ノ不  
足ヲ感ズルト云フコトハ、軍令部長モ申サ  
レテ居ルシ、海軍大臣自ラモ仰セニナッテ居  
ルノデハナイノデアリマセウカ、其權利ヲ

全部行使シテモ國防ニ缺陷ヲ生ジテ居ルコト  
ハ、現ニ申サレテ居ルノデハアリマセヌカ、  
第二次計畫ト云フモノハ、補充計畫ト云フ  
モノハ、其他ニ言フノデハナイノデアリマ  
シテ、其權利行使ノ中ニ殘サレタル權利ガ  
アルノデアリマスルガ、當然全部ヲ行使ヒ  
ニナッテモマダ足リナイノデアリマス、其他  
ニ殘サレテ居ルト云フコトハドウ云フ譯デ  
アリマスカ、若シ殘サレテ宜イモノデアル  
ナラバ、アノ通リノ騒動ハ起サレハシマセ  
ヌ、又サウ云フ餘裕ノアル會議デハナカッタ  
ヤウニ思フノデアリマス、切り詰メラレテ  
アル最低「リミット」ノ權利ヲ漸ク日本ハ保  
有シ得タノデアリマス、其僅カ許リ得タ所  
ノ權利ヲ全部ヲ行使サレナイデ、殘サレテ  
居ルト云フコトハドウ云フ譯デアリマス、  
カ、只今ノ海軍大臣ノ御説明デハ、サウ云  
一體殘サレタ第二次補充計畫ニハ何ガアル  
カト云ヘバ、屢々申上ゲタ通り驅逐艦ガ六  
隻残<sup>ツ</sup>テ居リマス、敷設艦ガ一隻残<sup>ツ</sup>テ居ル、  
是ハ五千噸ノ敷設艦、殊ニ日本ニ限<sup>ツ</sup>テ許サ  
レタル所ノ敷設艦デアリマス、何故ニシテ  
日本ニ限<sup>ツ</sup>テサウ云フモノヲ許サレタカト  
云ヘバ、日本ノ海軍ハ之ヲ要望シタカラデ  
アル、自ラ要望シテ居<sup>ツ</sup>テ、一隻シカ造ラナ

イデ、アト一隻殘サレテ居ルト云フコトモ、  
ノ是ハ華盛頓條約ニ關聯スルコトデアル  
ガ、航空母艦一隻一万二千噸ノモノガ殘シテ  
居ルノデアル、今ヤ亞米利加ニ對スル比率  
ハ、航空母艦ニ於テハ六割デアリマス、殊  
ニ今回不利ノ條約ヲ結シダ爲ニ、航空母艦  
式ノ巡洋艦モ亦六割ノ比率ヲ強要セラレテ  
居ルノデアリマス、此飛行機ト云フモノハ、  
航續距離ガ先ヅ六百哩ト思フノデアリマ  
ス、到底太平洋ヲ横斷スルコトハ出來ナイ  
ノデアリマス、必ズ航空母艦トカサウ云フ  
モノニ積マナケレバ日本ヲ襲フコトモ出來  
ナイノデアリマスルカラ、此航空母艦茲ニ  
航空母艦式ノ巡洋艦ト云フモノノ價値ハ大  
ナルコトハ申スマデモナイコトデアリマ  
ス、然ルニ其大ナル所ノ價値アル所ノ航空  
母艦ニ於テ六割デアリマス、少クトモ外ノ  
モノヲ見ルドコロノ騒ギデナイ、現時ニ於  
テ缺陷シテ居ルノデアルカラ、航空母艦ガ  
一隻残シテ居ルト云フコトハ、恐ラクハ、航  
空母艦ト云フモノハ維持費ガ非常ニ掛カ  
ル、恐ラクハ六百万圓位掛カルデアラウト  
思フ、其爲ニ後ニ殘サレタモノデアルト思  
レバナラヌ權利ハ、ソレダケノモノダケデ

モ残<sup>シテ</sup>居ルノデアリマス、是ハ骨幹デハナ  
タノデアリマスルケレドモ、……是ハドコ  
カ腕ノ骨カ足ノ骨位ニ當ルト思フノデアリ  
マス、骨幹ノ中ノ骨幹デアリマス、其大事  
ナモノヲ殘サレテ居<sup>シ</sup>テ、第一次補充計畫ダ  
ケデ以テ足リルト云フヤウナ御考ヲ何處マ  
デモ固執セラレルナラバ、私ハ先達テ花井  
博士ノ御讀上ニナック所ノモノニ付テ伺ハ  
ナケレバナラヌノデアリマス、花井博士ハ  
當時ドウ云フコトヲ言ハレタノデアルカ、  
速記錄ノ第九號ノ三十三頁ニ載<sup>シ</sup>テ居ルノ  
デアリマスガ、其前ニ、加藤軍令部長ガ軍  
事參議官トナラレテ海軍ノ演習ニ臨マレ  
タ、其歸途新聞ニ聲明サレタモノガアルノ  
デアリマス、其一節ヲ讀上ゲマス、「元來今  
回ノ「ロンドン」條約ニヨル我兵力量ハ世間  
ノ一部デ見テ居ル如ク八疊座敷ガ四ツアル  
ノヲ不景氣ノ際ダカラト云フテ三ツニ減ラシ  
タノデハナク、三本柱ニヨシテ支ヘラレテ居  
ル家ノ眞中ノ柱ガチヨット太クナッタガ、後  
ノ二ツノ支柱ヲウント細クシタノデアッテ、  
何時屋臺骨ガグラ／＼ト行クカ分ラヌト云  
フ結果トナッテ居ルノガ條約ノ兵力量ナノ

實ヲ期セネバナラヌコトハ勿論デアル、此點ニ付テハ安保海相モ谷口軍令部長モ同様シテ現下ノ經濟狀態ヲ考慮シテ最少限度ノ補充案トシテ提案サレ、タノガ、今回ノ豫算ニ現レタ五億圓程度ノモノデアルト思フノデ、軍部トシテハ此程度デハマダ／＼到底國防ノ完全ヲ期スルコトガ出來ナイノニ、ソレヲ更ニ三億五千万圓以下ニ減ジテ殆ド補充案ノ根本ヲ覆スガ如キ查定ニ對シテハ到底黙視シ難イ所デアル、一體我ニガ軍縮ニ對シテ飽マデ所期ノ信念ヲ主張スル所ノモノハ、軍備ハ決シテ戰爭ヲ目的トスルモノデナク、唯國家ノ存立ヲ危フカラシメザル爲ニ各國ガコレヲ保有シテ居ルモノデアリ、今回ノ「ロンドン」條約ノ兵力量デハ此補充案ニ相當遺憾ナキヲ期セヌ限リ國家ノ存ニモ關スル重大問題デアル、殊ニ政府ハ條約御批准ニ際シ國防ノ完備ヲ期スル旨ヲ奉答シテ居ル以上、國防計畫充實ノ補充案ニ對シテハ充分ニ慎重ナ態度ヲ以テ臨マネバナラヌト思フ、然ルニ其重大ナル國防計畫ヲ政治的ニ解決スル等言フガ如キハ危險此上モナイ素人論デ、眞ニ寒心ニ堪ヘヌモノデアル、斯ウ云フコトヲ述ベテ居ラレルノデアリマス、尙ホ花井博士ガ讀マ

「倫敦條約缺陷補充問題ニ就テ」ト云フ標題  
デ、讀マレタノデアリマス、「一、倫敦條約ニ  
ヨル國防ノ缺陷補充ヲ保留財源中ヨリ三億  
七千四百万圓、及右財源外ヨリ五千万圓ヲ  
以テスルコトハ、所謂第一次計畫デアリ、  
既ニ世間周知ノ事デアリマス、一、此外ニ  
第二次補充計畫トシテ總額一億四千万圓位  
ノモノガアルノデアリマス、是ハ材料其他  
ヲ平常ニ於テ整備シ置キ、短少ノ期間ヲ組  
立テ得ルヤウ準備スルモノデアリマシテ、  
昭和九年度カラ著手スルコトニナッテ居リ  
マス、一、其内容ハ航空隊二隊、驅逐艦四  
隻、敷設艦二隻、航空母艦一隻、條約制限  
外ノ水雷艇四隻デアリマス、一、元來補充  
計畫ハ第一次第二次等ト分割スベキモノデ  
ハアリマセヌガ、是ハ政府ノ都合等モアリ  
區別スルコトニナッタノデアリマス、一、  
從テ第一次補充計畫ハ緊急絶對ニ必要ナ  
ル根幹ヲナスモノノミデアリマス、一、  
此第一次、第二次計畫ノモノ、全部ヲ以テ  
初メテ軍事參議院ノ奉答文ノ缺陷補充ニ關  
スル内容ヲ具體的ニ整備スルモノデアリマ  
シテ、濱口首相モ當然承知デノコトデアリ

マヌス、一、右第二次計畫ニ就テハ責任ヲ以テ必ズ實現スルト云フ清口首相ノ捺印アル  
覺書ヲ我ガ海軍ハ取得シテアルノデ、内閣  
ノ更迭ガアツチモ決シテ心配ナモノト信  
ジテ居リマス」、右ガ加藤軍事參議官ガ申サ  
レタノデアリマス、之ヲ花井博士ガ先日豫  
算委員會ノ席上ニ於テ御朗讀ニナッタノデ  
アリマス、之ニ對シテ安保海軍大臣ハ「加  
藤大將ガサウ云フ事ヲ言ハレタハ私ハ信  
ジマセヌノデアリマス」ト云フ御答ガアツタ  
ノデアリマス、私ハ是ハ國ノ大事デアリマ  
スカラ、果シテ軍事參議官タル加藤大將ガ  
京都ニ於テ斯ノ如キ聲明ヲ發セラレ、又他  
ノ場所ニ於テ今讀上ゲマシタヤウナ聲明ヲ  
發セラレマシタカニ付キマシテハ、非常ナ  
疑ヲ持ッタノデアリマス、若モ是ガ事實デア  
ラザルトスルナラバ、何故ニシテ海軍大臣  
ハ之ニ對シテ取消ヲサレナカッタノデアリ  
マスカ、取消ガナイ所ヲ見ルト事實デアル  
ト承知シマシテ、加藤大將ニ對シテ私ハ是  
ガ事實デアルカ否カヲ問ウタノデアリマ  
ス、加藤大將ハ私ニ御答ガアッタノデアリマ  
スカ活カスカノ岐レ踏デアリマシテ、私信  
デハアリマスケレドモ、私ハ自分ノ責任ヲ  
擔フテ此事ヲ茲デ申上ゲテ宜シイト思フノ

文ヲ讀上ゲマス、前ノ方ハ全部略シマシテ、全  
連續真摯周到ナル御支援帝國海軍ノ爲眞ニ  
感謝不能措處ニ御座候貴意之件ニ就テハ安  
保海相ニ於テモ眞ニ誠意誠心ヲ以テ事ニ當  
リ一身ノ利害ノ如キ況ヤ政府ノ存亡問題ノ  
如キヲ度外視シ目下ノ環境ニ於テ海軍ノ爲  
最善ヲ盡シ居ルコト小生ヨリ保證致候恐ラ  
ク刻下ノ情勢ニ於テ何人ガ立ツトモ海軍ノ  
爲安保海相以上ノコトハ斷ジテ不可能ナル  
コトヲ御諒承被下度安保海相ハ決シテ自己  
ヲ欺カズ海軍ヲモ欺カズ況ヤ上御一人ヲ中  
心トシ奉ル前後ノ關係ニ於テヲヤニ御座候  
後段數字ノ件ハ「數字ト申シマスノハ敷設  
艦ガ二隻ト云フコトガ出テ居リマスカラ、  
ソレハ一隻ハ第一次計畫ニアルカラ、第一  
次計畫ニハ一隻分ノ誤デハナイカト云フコ  
トヲ申上ゲタ點ヲ指サレタノデアリマス、  
其「後段數字ノ件ハ阿蘇常盤代艦ノ事ニテ  
今回一隻著手スレバ後ハ一隻ト相成候以上  
甚ダ抽象的ナガラ貴酬マデ敬具、三月一日、  
加藤寛治、井上清純死」斯ノ如キ書面ヲ戴  
イタノデアリマス、無論是ハ私信デアリマ  
シテ、公ケノ席上ニ於テ之ヲ披瀝スルコト  
ハ差控ヘナケレバナラヌモノトハ考ヘマス  
ルケレドモガ、加藤大將ハ現ニ軍事參議官

ノ位置ニ居ラレマシテ、此條約ノ終始ニ互タ所ノ加藤軍事參議官其人ノ言ト云フモノハ、餘程重ク見ナケレバナラヌノデアリマス、私ハ加藤大將カラノ御許可ヲ得ナイデ御私信ヲ此公開ノ席上ニ於テ開イタコトハ相濟マヌト考ヘテ居リマスルケレドモ、國ノ大事ニハ替ヘラレナイノデアリマス、斯ウチヤント決<sup>シ</sup>テアル補充計畫ヲ御仕舞ヒニナツテ、今ハ内閣ノ都合上減税ノ方ニ振向ケナケレバ、此倫敦條約ガ成功シタルモノトハ言ヘナイト云フ御立場ノ爲ニ、強ヒテ國民ノ眼カラ是ヲ隠シテ置カレテモ、二三年過ギ、九年ト云ヘバ三年後デアリマス、三年後ニハ是ガ實現シナケレバナラヌト云フコトヲ我ミガ承知シテ居ルカラニハ、ドウシテモ其財源ハスク／＼デ以テヤルト云ガ餘<sup>シ</sup>タ財源デアルカラ他ニ流用シテモ宜シト云フコトガ出来ナイノデアリマス、此點ニ付キマシテ安保海相カラ最後ノ御答辯ガアリマスレバ承ハリマスケレドモ、強ヒテ海軍大臣ニ私ハ御答辯ヲ要求シナイノデアリマス、大藏大臣モ餘程ヨク御考ヘニナリマシテ……、一内閣ノ一つノ問題デハナイノデアリマス、一體海軍條約ハ

軍大臣モサッキ仰セニナッタノデアリマスカラ、最善ノコトラサレタト云フコトハ、海  
次計畫ト云フモノガ立ツ、ソレデ先ヅ當面  
ハ是デ國防ハ全キモノデアルト云フコトヲ  
聲明ナサラナケレバナラヌ譯デアラウカト  
考ヘルノデアリマス、此點ニ對シテ御所見  
ガアリマスレバ承ハリタイノデアリマス  
○湯地幸平君 チョット伺ヒタ一、私モ同ジ  
コトデアリマスガ、是ハ海軍大臣モ大藏大  
臣モ御考慮ヲ願ヒタイト思フ、第二次計畫  
ノ必要デアルト云フ事柄ハ度々申シテ居  
ル、サウシテ又條約上ノ權利トナッテ居ルモ  
ノガマダ此計畫ニ這入ッテ居ラヌ、大體ノ御  
見込ハアリサウナモノデアリマス、此豫算  
ノ計畫ヲ立テラレルニ於テモ、五年モ十年  
モ先ノ計畫ヲ大藏大臣ハ御立てニナッテ居  
ラレルガ、ソレデ私ノ希望スル所ハ、海軍  
大臣ト大藏大臣ト御相談ノ上ニ、茲ニ其疑  
問トナッテ居ルモノヲ茲デ 説明セラレナイ  
デ此案ヲ進メロト云フコトナラ、私等モ考  
ヘナケレバナラヌ、休憩モシナクチヤナラ

ルヤモ知レヌ、併シソレハ計畫デアリマス  
カラ其通り實施トハ違ヒマスガ、其時ニ依ツ  
テソレダケ實施ヲシナイデ濟ムカモ知レマ  
セヌケレドモ、サウ云フ海軍ニ必要ノ迫ッタ  
場合ニ於テ、如何ナルコトヲシテモ是ハシ  
ナケレバナラヌト云フ大藏大臣ノ言葉ダケ  
デハ、ドウモ少シ不安ダト思フ、例ヘバ救護  
法ノヤウナ問題デモ、全國ノ方面委員ガア  
レダケ此爲ニ上奏マデモスルト云フ、……  
デ其費用ノ捻出ノ爲ニハ非常ニ御苦心ニ  
ナシテ僅カ七十万圓ノ費用ノ捻出デアリマ  
ス、海軍ノ方ノ費用デアリマスルト金額モ  
多額ニ上リマスカラ、其時ノ關係デドウデ  
モスルト仰シヤツテモ、今日ノ財政狀態ニ於  
テハ、ドウモソコハ、ソレデヤドウカナサ  
ルデセウ、ソレデ、安心イタシマスト云フ  
譯ニ參ラヌノデス、ソレヲ御説明ニナッタラ  
ドウデアリマス、ソレヲ必ズ實施スルト云  
フコトデハナイノデアリマス、或ハ何カノ  
増稅ニ依ツテソレヲ實施スル際ニハ斯ウ云  
フ增稅ノ方法ヲ講ジテ、或ハ行政整理デモ  
致ストカ、或ハ增稅ト行政整理デ行ク積リ  
デアルトカ、何カソコニ少シ御説明ガナイ  
ト、甚ダ物足ラヌヤウニ思フ、今茲ニ即席  
ニハ事柄ガ重大ノ問題デセウカラ要求イタ  
シマセヌガ、此點ニ付テ御考慮ヲ願ヒタイ

ト思ヒマス、ソレデ實際ヲ申シマスト云フ  
ト、漏レテ居リマス、第二次計畫ノコト  
ハ……是ハ事柄モ薄ミ知ッテ居リマスルガ、  
ウト思フ、ソレハ此公開ノ席デハ言ヘヌカ  
ラ黙々テ居ル、デ先刻來海軍大臣ノ御答辯ニ  
依リマスルト、實施ト計畫トヲ混同シテ居  
ラレハセナイカ、實施ノ際ニハソレハ其通  
リニナリマスケレドモ、相對關係デ歐米ノ  
關係モ見テ斯ウ云フ場合ニ於テハ止メテ宜  
シ、又其計畫カラ増シテモ宜イト云フコト  
モ生ジマス、併シ第二次計畫ガ必要ダト云  
フコトヲ明言セラレタ以上ハ、何等ノ計畫  
モナク、何等ノ見込モナク、何等ノ財政上  
ノ計畫モナクテ、其時ニハヤルト斯ウ仰シ  
ヤ、テモ、ソレハドウモ進メル譯ニ行カヌヤ  
ウニ思ヒマスガ、其減税ト云フモノガ一年  
限リナラ宜シウゴザイマセウ、是ハズット永  
年續イテ行ク國家ノ收入ノ減少ニナリマス  
カラ、其時ニナッテ又非常ナ困難ナ狀況ニ陷  
ル、ソレデ今日私ハソレヲ要求ハ致シマセ  
ヌガ、適當ナ機會ニ御相談ノ上ニ大體ノ計  
畫デモ仰セ下サレバ仕合セデアリマス、祕  
密會ト云フコトニシテ願ツテモ宜シウゴザ  
イマス、絕對ニ新聞ニ漏ラサナイト云フ  
約束ノ下ニ於テモ宜シウゴザイマス、其點

○水野鍊太郎君 チヨット序デデアリマス  
カラ井上男爵ノ御答ヲ受クルニ付キマシテ  
私ノ希望ヲ述ベテ置キマス、井上男爵ハ我  
ガ國防ノ將來ニ付テ非常ニ憂慮セラレマシ  
タ結果、只今ノヤウナコトヲ御述ベニナッタ  
コトト思フノデアリマス、之ニ付テハ實ハ  
私共モ國防ノ將來竝ニ財政ノ將來ニ付キマ  
シテハ不安ヲ懷キ憂慮イタシテ居ルノデア  
リマス、ソレ故ニ先日モ地租法案ヲ審議ス  
ルニ當ツテ御迷惑デアルト思ヒマシタケレ  
ドモ、海軍大臣ノ御出ヲ願ヒ、又外務大臣  
ノ御出ヲ願ツテ對外關係ノ上カラ見マシテ  
モ、日本ノ國防ガドウ云フ風ニナルカ、ソ  
レニ依ツテ國家ノ財政ト云フモノヲ考慮シ  
テ行カネバナラヌ、斯ウ云フ風ニ考ヘマシ  
タノデ、海軍大臣ニハ甚ダ御迷惑デアラウト  
思ヒマシタケレドモ、ソレカラ又同ジヤウナ  
コトヲ何時モ何時モ答ヘテ居ルト云フコトデ  
アリマシタガ、其點ニ付テハ我ミノ疑ガ十  
分ニ解ケテナイ、デアリマスカラ之ニ付テ  
デアリマスカラ、政府ト云ハズ、我ミト云ハ  
ズ、共ニ俱ニ胸襟ヲ開イテ打解ケテ十分ナ  
ル御話ヲ得タイト思ツテ居ルノデアリマス、  
只今マデノ御答ハ、一應ハ御答ニナツテ居ル

ト思フ、併シ其間ニ靴ヲ隔テテ痒キヲ搔ク  
感ガアルノデアリマス、時ニハ此點ハマダ  
言ヘヌトカ、政府部内ノコトハ話が出来ヌ  
トカ云フヤウナ答モアリマシタガ、是モ必  
シモ無理トハ申シマセヌケレドモ、併シ我  
我ガ斯ク迄ニ心配ヲシテ居ルノデアルト云  
フコトヲ能ク御諒察下サレテ、モウ少シ打  
解ケタ御答ヲ私ハ受ケタイト思フ、我ミハ  
今減税案ナルモノヲ審議シ、而シテ此減税  
ト云フモノハ國費ノ方カラ申シマスレバ一  
億三千四百万圓デスカ、平年度ニ於キマシ  
テ二千五百万圓宛減少シテ行クノデアリマ  
ス、國民ノ負擔ヲ輕減スル、民力ヲ休養ス  
ルト云フコトノ必要ナルコトハ、ドコ迄モ  
之ヲ認メテ居ルノデス、寧ロ此度ノ減税ト  
申ストハ低キニ失シテ居ル、出來得ベク  
アリマス、ソレ故ニ案ノ趣旨ニハ敢テ反對  
ハ致シマセヌ、併ナガラ他ノ一面ヲ考ヘマ  
スルト云フト、國防問題殊ニ海軍ノ問題ニ  
付キマシテハ種々ノ論議ガアルノデアリマ  
ス、昨年以來色ミナ問題が出、是ガ爲ニ紛  
争ヲ來タシタコトハ實ニ國家ノ爲ニ遺憾デ  
アルト思テ居ルノデアリマス、併シサウ云  
フ問題ガ起シテ、サウ云フ争ノアッタト云フ

コトハ、是ハ蔽フベカラザルコトナンデス、  
ソレ故ニ今後ドウ云フ風ニナツテ行クカト  
トカ云フモノガ出來テ居ルノデアリマセウ  
シモ無理トハ申シマセヌケレドモ、併シ我  
我ガ斯ク迄ニ心配ヲシテ居ルノデアルト云  
フコトヲ能ク御諒察下サレテ、モウ少シ打  
解ケタ御答ヲ私ハ受ケタイト思フ、我ミハ  
云フコト迄モ打明ケテ御話ニナツタ、實ハ私  
共モ初メテ聞イタヤウナコトモアルノデア  
リマス、要スルニ問題ハ今日ノ詰リ計画三  
億七千四百万圓デスカ、此度豫算ニ出タ此  
計画ヲ以テ我ガ海軍ノ將來ハ差支ヘナイノ  
デアルカドウカ、斯ウ云フ事柄ノ疑デアリ  
マス、海軍大臣ハ國防ノ根幹ニハ差支  
ヘナイト云フコトヲ仰シヤル、國防ノ根幹  
ト云フコトハ、ドウ云フ意味カ分リマセヌ  
ケレドモ、要スルニ所謂根幹デアリマスル  
カラ、國防ノ根幹トナリ幹トナルコト迄ハ兎  
ニ角ソレダケハ宜イ、兎ニ角ソレダケノコ  
トハドウカシテ行ケルダラウト云フコトガ  
海軍ノ一致シタ御意見デアル、成程サウ云  
モ、時期及内容ハ分ラヌト云ツテモ、兎ニ角  
シ之ヲ以テ足レリトシテ居ラヌト云フコト  
テ行ケバ我ミ素人ガ何等申ス所ハナイ、併  
シ之ヲ以テ足レリトシテ居ラヌト云フコト  
ハ、是ハ海軍大臣モ言ハレテ居リマスガ、ソレハ今  
ニナツテ居ルコトト思フ、何カヲ附ケナケレ  
バナラヌ、其何カガ何デアルカト云フコト  
ヲ私共承リタイガ、ソレハマダ決マッテ居ラ  
ヌト云ラノデアル、ソレハ私ハ詳シイコト  
テ、其計画ト云フモノハヤツテ行カネバナラ

コトハ、是ハ蔽フベカラザルコトナンデス、  
云フコトニ付キマシテハ、國民トシテモ、  
シモ無理トハ申シマセヌケレドモ、併シ我  
我ガ斯ク迄ニ心配ヲシテ居ルノデアルト云  
フコトヲ能ク御諒察下サレテ、モウ少シ打  
解ケタ御答ヲ私ハ受ケタイト思フ、我ミハ  
云フコト迄モ打明ケテ御話ニナツタ、實ハ私  
共モ初メテ聞イタヤウナコトモアルノデア  
リマス、要スルニ問題ハ今日ノ詰リ計画三  
億七千四百万圓デスカ、此度豫算ニ出タ此  
計画ヲ以テ我ガ海軍ノ將來ハ差支ヘナイノ  
デアルカドウカ、斯ウ云フ事柄ノ疑デアリ  
マス、海軍大臣ハ國防ノ根幹ニハ差支  
ヘナイト云フコトヲ仰シヤル、國防ノ根幹  
ト云フコトハ、ドウ云フ意味カ分リマセヌ  
ケレドモ、要スルニ所謂根幹デアリマスル  
カラ、國防ノ根幹トナリ幹トナルコト迄ハ兎  
ニ角ソレダケハ宜イ、兎ニ角ソレダケノコ  
トハドウカシテ行ケルダラウト云フコトガ  
海軍ノ一致シタ御意見デアル、成程サウ云  
モ、時期及内容ハ分ラヌト云ツテモ、兎ニ角  
シ之ヲ以テ足レリトシテ居ラヌト云フコト  
テ行ケバ我ミ素人ガ何等申ス所ハナイ、併  
シ之ヲ以テ足レリトシテ居ラヌト云フコト  
ハ、是ハ海軍大臣モ言ハレテ居リマスガ、ソレハ今  
ニナツテ居ルコトト思フ、何カヲ附ケナケレ  
バナラヌ、其何カガ何デアルカト云フコト  
ヲ私共承リタイガ、ソレハマダ決マッテ居ラ  
ヌト云ラノデアル、ソレハ私ハ詳シイコト  
テ、其計画ト云フモノハヤツテ行カネバナラ

コトハ、是ハ蔽フベカラザルコトナンデス、  
云フコトニ付キマシテハ、國民トシテモ、  
シモ無理トハ申シマセヌケレドモ、併シ我  
我ガ斯ク迄ニ心配ヲシテ居ルノデアルト云  
フコトヲ能ク御諒察下サレテ、モウ少シ打  
解ケタ御答ヲ私ハ受ケタイト思フ、我ミハ  
云フコト迄モ打明ケテ御話ニナツタ、實ハ私  
共モ初メテ聞イタヤウナコトモアルノデア  
リマス、要スルニ問題ハ今日ノ詰リ計画三  
億七千四百万圓デスカ、此度豫算ニ出タ此  
計画ヲ以テ我ガ海軍ノ將來ハ差支ヘナイノ  
デアルカドウカ、斯ウ云フ事柄ノ疑デアリ  
マス、海軍大臣ハ國防ノ根幹ニハ差支  
ヘナイト云フコトヲ仰シヤル、國防ノ根幹  
ト云フコトハ、ドウ云フ意味カ分リマセヌ  
ケレドモ、要スルニ所謂根幹デアリマスル  
カラ、國防ノ根幹トナリ幹トナルコト迄ハ兎  
ニ角ソレダケハ宜イ、兎ニ角ソレダケノコ  
トハドウカシテ行ケルダラウト云フコトガ  
海軍ノ一致シタ御意見デアル、成程サウ云  
モ、時期及内容ハ分ラヌト云ツテモ、兎ニ角  
シ之ヲ以テ足レリトシテ居ラヌト云フコト  
テ行ケバ我ミ素人ガ何等申ス所ハナイ、併  
シ之ヲ以テ足レリトシテ居ラヌト云フコト  
ハ、是ハ海軍大臣モ言ハレテ居リマスガ、ソレハ今  
ニナツテ居ルコトト思フ、何カヲ附ケナケレ  
バナラヌ、其何カガ何デアルカト云フコト  
ヲ私共承リタイガ、ソレハマダ決マッテ居ラ  
ヌト云ラノデアル、ソレハ私ハ詳シイコト  
テ、其計画ト云フモノハヤツテ行カネバナラ

デアル、而シテ之ニ付テハ海軍大臣モ御同  
意ニ相成、テ居リマス、御同意ト云フノハ、  
計畫ヲスルト云フコトハ、御話ニナツテ、併  
ナガラ金ヲドウスルト云フコトハ、是ハ今  
カラ豫定ハ出來ナイ、ソレハイムヲ得マセ  
ヌ、斯ウ云フコトニ相成、テ居ルノデアラウ  
ト思フ、ソコガ即チ我ミガ心配スル所デア  
リマス、昭和九年デアリマスルカ、昭和十年  
デアリマスルカ、ソレハ分リマセヌガ、要  
スルニ世間デ言フ第二次計畫、即チ今日ノ  
根幹ニ何カ附加セネバナラスト云フ計畫、  
其金ハドノ位デアルカト云フト、先程井上  
男爵ガ言ハレタノハ一億四千万圓、併シ是  
ハ何所カラ出タ數字カ知ラヌケレドモ、我  
我ノ頭ニモ一億四千万圓ト云フヤウナコト  
ガ時ニ觸レテ來ル、併シ是ハ私ハ海軍大臣  
ノ御言葉ヲ信ジテ今サウ云フコトハ決マッ  
テ居ラヌト思フ、今カラチヤントドウ云フ  
艦種ヲ造ツテドウヤルト云フコトハ決ツテ居  
ラナイデ、此二三年間ニ十分ニ研究ヲシテ  
ヤラナケレバナラヌ、ソレガ一億四千万圓  
ニナルカ、一億三千万圓ニナルカ、將タ一  
億ニナルカ、ソコハ分ラヌケレドモ、兎ニ  
角其近所、其額ニ近イ所ノ金ガ要ルト云フ  
コトハ、是ハ間違ヒナイコトデアル、ソレ  
故ニ私ハ推測イタシマスルニ、恐ラクハ其

事ハ海軍大臣モ責任ヲ有タレテ内閣ニ於テモ話ヲサレ、首相ニモ話ヲサレ、大藏大臣ニモ十分話ヲサレテ居ルコトト思フ、海軍大臣ガ無責任ニソシナコトハ今考ヘテ居ラヌ、先ハ先ダ、斯ウ云フヤウナコトハ決シテ御考ヘニナッテ居ラナイデ、十分ニ其點ハ考慮シテ、總理大臣ニモ話ヲシ、大藏大臣ニモ話ヲシ、何カ茲ニ一札ヲ入レチ居ルトカ何トカ云フヤウナコトモ言テ居ル、是ハ甚ダオカシナ話デ、ソシナコトハ有ルカ無イカ知レヌガ、サウ云フコトノ空氣ガ何所カラカ出テ來テ居ル、併シ是ハ私ハ斯ウ考ヘル、海軍大臣トシテハ昭和九年ニナルカ、所謂第二次計畫ト云フモノハ、是ハ何トシテモ造ラナケレバナリマセヌ、ソレニ付テノ豫算ト云フモノヲ考ヘテ置イテ貰ヒタイ、財源ヲ一ツ貰ヒタイト云フ話ハ必ズナス、タラウト思フ、併シ其財源ハ今カラ作ツテ行クコトハ出來ヌ、一面ニハ減稅モシナケレバナラヌ、ソレハ今カラ作ツテ置ク譯ニハ行カナイ、若シソレガ行カナイノナラバ、ドウシテ下サルカ、是マデノ念ハ押サレテ居ルト思フ、其時ニ大藏大臣モ總理大臣モ、ソレハ其時ニナッタラ其時ニドウカスイヤ、ソレハ其時ニナッタラ其時ニドウカス

ル、必ズ工夫ヲスル、若シ國防上是非必要ナリトスルナラバ、其時ニナッタナラバ、各省ノ他ノ費用ヲ減シテモ其財源ハ作ラウ、又増稅ノコトモ言ハレタカドウカ知ラヌガ、增稅モ必要ナラバ致サウ……恐ラクソレハ其時ノ事柄デ、今カラサウ云フコトヲ言ハヌデモ宜イデヤナイカ、斯ウ云フヤウナコトヲ大藏大臣モ言ハレ、總理大臣モ言ハレタラウト思フ、サウスルト海軍大臣ハ其時ハドウカシテヤル、斯ウ云フノデアルカラ、其金ヲドウシテ下サルカ、其金ヲ積ンデ置イテ吳レ、斯ウ云フヤウナコトマデモ言ヘナイノデアルカラ、ソコヘ行ケバ、總理大臣ナリ、大藏大臣ヲ信賴シテ置クノ外ハナイ、故ニ今日トシテハ三億七千万圓デスカ、ソレダケノ金額ヲ以テ満足シテ、ソレデ後ノコトハ後ノコトデ考ヘヤウ、是ダケノ兎ニ角首相竝ニ藏相ノ言質ヲ取<sup>ツ</sup>テ置クノデアルカラ、已ムヲ得ズ満足シテ置クノ外ハナイ、又ソレデ海軍部内ノ人モ慰安ニナッタラウト、斯ウ思フ、此處ヲ井上男爵ハ御心配ニナルノデアル、併シ私ガ考ヘルノニ、ソレガ事實デヤナイカト思フ、所ガ其時ニナッテドウカスルト云フコトニナルト、ドウモ大藏大臣ナリ總理大臣ガサウ言フノダカラ、ソレ以上ノコトハ出來

又カラ、已ムヲ得マイ、斯ウ云々タコトデ、シ將來ノコトハ將來ノ根幹ガ出來タノダ、併ヘルノダ、斯ウ云フコトデ行クノ外ハナイ、斯ウ云フコトデハナイカト思フ、詰リ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、海軍大臣ガ昭和八年カ九年ニソレダケノ費用モ要スルト云フコトハニ入ツテ居ルト思フ、一億四千万圓、一億三千万圓、サウ云フコトハ今ハ言ヘマセヌガ、併シ大凡一億四千万圓、其位ノ計畫ハ海軍デ立ツテ居ラヌ筈ハナイ、凡ソハ立ツテ居ルケレドモ、併シ是ハ豫想デアル、カラ、ドウナルカ、今カラ言ヘヌト云フコトデ、我ミニハ御説明ニナラヌノデアリマス、ソレモ已ムヲ得マセヌケレドモ、其費用ハ今言々タ通リニ、首相ナリ、大藏大臣ナリカラ一札モ取ツテ居ルカモ知レナイ、サウ言フト、サウ云フコトハ何レ其時ニ於テ考慮スベキコトデアルト云フ位ノ返事ハ御貰ヒニナツテ居ルカモ知レナイト思フ、唯私方心配スルノハ、サウ云フヤウナコトハ過去ニモ能クアッタ譯デハアリマスガ、此二三年ノ財政計畫ガドウ云フ風ニナツテ行クカ分ラヌ、段々景氣ガ回復シ、自然增收ガ出來、剩金ガ出來タヤウナ場合ニハ、今ノ一億圓カ一億四千万圓ハ、是ハ容易ニ出シ得ルデア

ドウ云フコトニナルカ知レマセヌケレドモ、先ヅ當分ハ自然增收ト云フモノモ剩餘金モサウ餘計出テ來ナ、寧ロ私ハ來年度ハ自然減收デハナイカト思ヒマス、サウナリマスト、昭和九年カ十年カノ豫算ヲ編成スル内閣ト云フモノガ非常ナ苦境ニ陷ル、今ノ大藏大臣、今ノ總理大臣ガ居ラレタ場合ニハ、ソレハ何トカ爲サレマセウガ、其將來ヲ考ヘマスト、私ハ是ハ政治上ニ於テモ餘程困難ガ生ジテ來ルト思フノデアリマス、併シ今ハサウ云フ御考デアルトシマシテ、是ハ加藤友三郎君ガ海軍大臣タリシ時ニアノ艦艇計畫ヲ立テタ、其時ニ財源ハドウスルカト云フコトヲ能ク突込ンダ、殊ニ私共ハ其點ニ付テ突込ンダ、其時ノ大藏大臣ハ武富時敏君デアッタガ、ソレハ何トカスル、斯ウ云フコトデアリマス、私ハ海軍大臣ニ向テ國防上是非必要デアルト云フナラバ、何故ニ、其財源マデモ突込マナイカ、斯ウ云フ質問ヲシタラ、是ハ國防上必要デアル、併ナガラ財源ハ大藏大臣ガドウトカスルト言フカラ、大藏大臣ハドウ爲サルカ、斯ウカラ私ハ大藏大臣ニ、海軍大臣ハ斯ウ言フノデアルガ、大藏大臣ハドウ爲サルカ、斯ウ

トノ一言ヲ以テ最後マデ突張シタタ、内容ヲシマスト云フコ  
ウ少シ示シテ吳レ、イヤ内容ハ示スコトハ  
出来ヌ、最善ノ努力ヲ盡ス、ソコデアノ貴  
族院ニ於テ減債基金半減ト云フ問題モ出ヌ  
スレバ種々ノ話モアタノデアリマス、露ト尾  
花ト花トガ互ニ相親シテ居ルダケデ、露ト尾  
花ノ間ノ話ト云フモノハ世間ニハ言ヘナイ  
ノダ、斯ウ云フ狂歌スラ出來タト云フヤウ  
ナ歴史スラモアル、丁度今ノ情勢ハサウ云  
フヤウナコトデハナイカト私ハ考ヘル、玆  
ニ於テ井上君ナドハ非常ニ此點ニ付テ心カラ  
ラ憂慮セラレテ居ルノデアリマス、果シテ  
是ガ國家ノ爲ニ是デ宜イカドウカト云フコト  
トヲ心カラ憂ヘラレテ居ルノデアリマス、  
私モ其點ニ付テハ憂ヲ同ジウスルノデアリ  
マスガ、ソコデドウモ私ハ鎧兜ヲ脱シテ、直  
裸ニハナレヌニシテモ、少クトモ「チヨッキ」  
位ハ脱シテ、鉢ヲ外シテ、モウ少シ話ラシテ  
下ステ、サウシテ我ニモ、サウ云フコト云  
アレバ已ムヲ得マイト云フヤウナ所ノ御話  
ヲ承ルヤウニシタイト思フノデアリマス、丁  
度今井上君カラ御話ガ出マシタカラ、御話  
ヲ申上ゲテ置キマス、併シ今デナクテモ宣  
シウゴサイマス、能ク御相談フナスタ上デ  
宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 只今井上男爵  
カラ御話ガアリ、湯地君ヨリモ今返事ヲ爲  
サラヌデモ宜シイ、又水野君モ之ヲ敷衍シ  
テ御要求デゴザイマスガ、如何デゴザイマ  
セウカ、兩大臣ニ於テハ別ニ御相談ナクシ  
テ直グ御返事ガ出來マセウカ、若シ出來マ  
スレバ直チニ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(男爵安保清種君) 直グ申上ゲ  
マセウ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 湯地君ガ居ラ  
レナイガ、ドウシマセウカ……

○水野鏡太郎君 湯地君モ呼バレタ方ガ宜  
イ、折角聽キタイト云フコトデアルカラ……

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 如何デアリマ  
セウカ、ソレデハ湯地君モ居ラレマセヌシ  
時間モ迫テ居リマスカラ、是デ休憩シテ午  
後一時ヨリ開會シテ如何デゴザイマスカ

「〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ」

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ休憩  
イタシマス

午前十一時四十分休憩

午後一時十四分開會

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 休憩前ニ引續  
キ開會イタシマス

○男爵阪谷芳郎君 會期ガ切迫シテ參リマ  
シタガ、豫算總會デ凡ソ質問ノ順序ヲ委員

長ガ御決メニナリマシタガ、必ズシモ其通りニ守レヌ場合ガアリマスカ知リマセヌガ、凡ソ大體ノ質問ヲ一度終リ、又各法案ニ付テノ質問應答ヲ終シテ、何レ討論ニ移ルト云フヤウナ風ニ御決メ願ヘマセウカ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 私ハ何モ思テ居リマセヌカラ、御提議ヲ願ヒマス

○水野鍊太郎君 ソレハ質問ニ依リハシマセヌガ、其程度範圍ヲ限シテ模様ニ依シテ……

○藤田四郎君 別段強イタル意見モゴザイテ、二時マデ掛シテモヤルト云フコトニシテ、アトハ質問ヲ爲サッタラ如何デスカ、凡ソ海軍ノ方ハ何遍モ蒸返シマストナカヽ限リハナイダラウト思ヒマス、今日ハ海軍ノ問題ハ一應質問ヲ終シテ、サウシテ逐條ノ質問ヲ始メルト云フコトニ……軍縮問題ダケハ今日デ止メタイ

○森田福市君 長岡君ガ海軍大臣ニ質問申シタイト言ツテ居ラレマシタガ、今日ハ見エテ居リマセヌガ……

○伊澤多喜男君 藤田君ト同様ノ考ヲ持テ居リマス、長岡君ノ外ニモ默ツテ居ル人チルヤウナ方ガアラウト存ジマス、矢張リ大澤山アリマスカラシテ、ソレノ質問ナサ



フモノヲ、倫敦條約ニ於テ得タ權利ヲ全部行使シテモ尙且ツ兵力ニ不足ガアルト云フノデアルノニ、其權利ヲ幾分カデモ残シテ置クト云フコトハ當ラ得ナイ、ドウシテモ其權利ヲ全部行使スルト云フコトヲ含ンデ始メテ完全ナル計畫ニナルノデハナイカト云フヤウナ意味ノ御尋デアリマシタガ、是昨日モ御答ヲ申上ゲタト存ジマスルシ、ソレカラ先程モ第一ノ井上男爵ノ御尋ノ時モ、ソレニ關シテ御答ヲ申上ゲタカト存ジマスルガ、兎モ角、條約ニ現レマシタ各國ノ權利ト申シマスルノハ、其國デ行使シ得ル最上限ノモノガ決メラレテアルコトハ申ス迄モナイ所デアリマシテ從テ之ヲ兵力量ノ中ニ或兵種ニ不足アリト申シマスノハ、即チ倫敦會議ニ帝國ノ主張イタシマシタ三水艦ノ現有量ト云フモノガ其所期ニ達セナ大主張ト云フモノノ中ニ、八吋巡洋艦、潛カット云フ所ニ、即チ缺陷ノアルト云フコトハ、是ハ御承知ノ通リデアルノデアリマス、從テ此度ノ計畫ニ於キマシテ、即チ骨幹ト云フコトヲ屢々申上ゲマシタガ、骨幹モソレニ肉ガ附カナケレバ何ニモナラヌデヤナイカト云フ御話モアリマスガ、即チ其ガアルノヲ是非補フ上ニ於テ第一必要ナモ

ノハ、潛水艦モ許サレテ居ル量ノ全部ヲ行  
使スルト云フコトニ致シテ居リマスルシ、  
ソレカラ六時巡洋艦デハ八時巡洋艦ノ補ヒ  
ニハ全クナラヌト云フ段々昨日カラノ御議  
論モアリマシタガ、是ハ色ニ細カク申シマ  
スルト、ナカニ専門ニ涉フテムヅカシイ問  
題ニモナリマスル、所謂豫算ノ分科會ニ於  
テ速記ヲ止メテノ懇談會デモ段々御話ヲ申  
上ゲマシタヤウニ八時巡洋艦其モノヲ直チ  
ニ六時巡洋艦ヲ以テ、船對船ノ艦對艦ダケ  
デ補ヒ得ベシトハ信ジテ居リマセヌケレド  
モ、此度計畫イタシマシタ六時巡洋艦ト云  
フモノハ、サウ云フ點ニ相當有力ナル補ヒ  
ヲ爲シ得ルト云フ意味ニ於テ、特ニ考慮ヲ  
用ヒテ大體ノ計畫ヲシ、又是カラモ研究ヲ  
進メムトシツ、アリマスル所デアリマス、  
ソレカラ潛水艦ト云フヤウナモノニ付キマ  
シテハ是モ詳シク申上ゲタノデアリマスル  
ガ、同ジ頃數デアリマスケレドモ、此同ジ  
頃數ヲ種々ノ方法ヲ以テ内容充實ト云フヤ  
ウナコトヲヤッテ、戰時トカ必要ノ場合ニハ  
ニマデニハ達セナクテモ、ソレニ成ベク近  
イ所ノ活動ノ出來ルヤウニモ方法ヲ取リマ

スルトカ、又航空隊ノ補ヒト云フモノハ即  
チ航空隊ヲ以テ遠クカラ敵ノ動靜ヲ探知ス  
ルコトガ出來ルノデアリマスカラ、敵ノ狀  
況ニ應ジテ、或一地區ヲ警戒スル潛水艦ト  
云フモノハ、從來或ハ水道ヲ警戒スルノニ  
十艘ガ十艘ヲ是非トモ必要トスルモノヲ遠  
クカラ敵情ヲ偵察シ得ラレ、バ、ソレヲ七  
艘ナラ七艘ヲ以テ其警戒ノ任務ヲ果シ得ラ  
レルト云フヤウナ意味ノコトモ考慮シテ、  
其處ニ航空隊ト云フモノ、補ヒヲ致シタ、  
即チ兵力ノ或種ニ於ケル不足ト云フモノノ  
補ヒト云フモノハ此度其骨幹ヲ揃ヘタト云  
フ中ニハ十分ソレヲ考慮シテ備ヘマシタ次  
第デアリマス、ソレデ各國ノ狀況ニ依ルト  
云フコトハ幾度モ申上ゲマスルケレドモ、  
サウ云フ意味ニ於キマシテ此全部ヲ行使シ  
タ場合ニ、コチラノ全部ヲ行使シテモ或ル  
種ノ兵力ニ不足ガアルト云フ、斯ウ云フノ  
デアリマシテ、例ヘバ驅逐艦ノ如キハ若シ  
三大主張ガ通リマスレバ、今迄ノ分量ヨリ  
ハ六時巡洋艦及潛水艦ニ於テハ四万一千噸  
ダケハ少イノデアリマス、四万一千噸ダケ  
少クテ甘ンジナケレバナラナイノデアリマ  
スガ、此度ノハ即チ六時巡洋艦ト驅逐艦ニ  
於テ四万一千噸ダケ三大主張ノ場合ヨリ殖  
エテ居ル、サウ云フモノヲ以テモ矢張リ補

ヒガ相當付キ得ルノデアル、其補ヒガ付キ得ルニモ、驅逐艦ト云フヤウナモノハ今直グニ造ラヌデモ、十八隻造リ得ル權利ノ中ヲ十二艘造ッテ、他ノ六隻ト云フモノハ急造モ出來ルコトデアルカラ、若干後ニ延バスト云フコトハ、是ハ自ラ財政ノ事柄トモ調節イタシマシテ、必ズシモ不可能ノコトデハナイト考ヘマス、尙ホ又此序デニ權利行使ト云フコトニ付テ申上ゲマスルガ、巡洋艦ノ方ハ別ト致シマシテ、航空母艦ト云フモノニ付テ亞米利加ガ段々造ラテ行ク、亞米利加ニ對スル日本ノ立場トシテ……巡洋艦ガ、是ハ倫敦會議デハアリマセヌ、華盛頓會議デアリマスケレドモ、一万二千噸尙ホ造リ得ル、何故造ラナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスケレドモ、是ハ幾度モ申上ゲタト存ジマスルガ、今現ニ龍驤ト云フモノヲ建造シテ居リマシテ、四月初メニソレガ進水スルト云フ状況ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ茲ニ残シテアル一万一千噸ト云フモノヲ此度若シ使ヒマスレバ、日本ノ八万一千噸ノ持分ト云フモノハ殆ド……殆ドデハアリマセヌ、全部墳メラレテ仕舞ヒマスカラ、是カラ十數年ニ亘ツテ最早航空母艦ト云フモノヲ新シク造ルコトガ出來ナイノデアリマス、從ツテ航空母艦ト云フモノハ極メ

モ一舗建造中デアリマスガ、一万三千噸ノ  
モノヲ……サウ云フモノアタリノ状況モ見、  
ソレカラ又三隻モ四隻モ亞米利加ノ方デハ  
造ラナケレバ亞米利加ノ持分ノ十三万噸ニ  
ハナラナイノデアリマス、サウ云フヤウナ  
将来モウ少シ見極メヲ付ケテカラ、最モ日  
本ノ作戦計畫ノ中ニ適應スルヤウナ艦種ヲ  
選ンデ拵ヘルト云フコトヲ寧ロ適當トスル  
ト云フモノハ若干年後ニ延バスト云フコト  
ニ致シテ居リマス譯デアリマス、機雷敷設  
艦ト云フヤウナモノニ付キマシテモ、今ハ  
重山ト云フモノガ建造中デアルカラ、此度  
一隻計畫シテ即チモウ一隻造リ得ル權利  
ハアリマスケレドモ、之モマダモ少シ年月  
ヲ延バシテ後ニ計畫ニ著手スルコトヲ適當  
ハ思ヒマスガ、今日ノ此計畫ノ中ニ是非  
トスルト云フヤウナ意味モアリマシテ、決  
シテ不用トハ考テハ居ラヌ、絶對必要ト  
組入レテヤラナケレバナラヌ程デナク、寧  
ロ暫ク年月ノ經ッタ後ニ新シイ計畫ヲ樹  
テタ方ガ適當ト云フモノハ後ニ延バシテ、  
ソレヲ即チ緊急已ムヲ得ズ計畫シタモノノ  
骨幹ト云フモノト、後ニ若干延バシテ宜イ  
モノト、其處ニ若干區別ヲ付ケマシテ計畫

ヲ樹テマシタ次第アリマス、亞米利加ノ  
例ヘ航空母艦、是ハ華盛頓會議ニ於テ幾ラ  
ル華盛頓會議カラ基イテ相當長イ年月ガ  
經テ居リマスルケレドモ、此中造テ居リ  
マスノハ七割ニハマダ達シテ居リマセヌ、  
其以外ノモノハマダ順數ガ剩シテアル、適  
當ノモノヲ造ラウト云フコトデ出來ズニ居  
ルガ、昨年十月契約致シマシタ一万三千噸  
ノヤツガ、三番目ノ「レキシントン」「ソナ  
タ」ニ次イデ三番目ニ出來ムトシテ居ルモノ  
デアル、日本ガ權利ヲ八万一千噸有テ居リ  
マス中ハ、亞米利加ノ割合ヨリカ多クモウ  
建造シテ、剩ス所一万二千噸ト云フコトニ  
ナツテ居リマス、斯ウ云フ状況ヲ比較致シマ  
スルト、亞米利加ガマダ今後何隻モ航空母  
艦ヲ造レルコトニナツテ、是モマダ豫算ト云  
フモノハ昨年ノ十一月以後ノモノハ豫算ハ  
何等取テナイノデアリマス、サウ云フノニ  
對シテ日本ダケ此剩テ居ル一万二千噸ヲ  
直ニ實行スルト云フコトハ考物デアルト云  
フヤウナ意味モ考慮致シマシテ、今度ノ計  
畫ト云フモノモ立テ、居リマスル次第デア  
リマス、ソレデ湯地サンヤ水野サンカラモ  
大體此二次計畫ト云フモノハソコニ在ル、  
ソコニ在ルノヲ、何カソコニ被セテ、マダ

内容モ時期モ不明ダト云々テ居ルダケデハ、  
甚ダ安心ガ出来ヌト云フヤウナ御言葉モア  
リマシタ、御尤モノ御尋ト存ジマスルガ、  
是ハ條約ノ権利ヲ全部行使致シマスレバ大  
體何ガ何艘ヲ必要トスル、何ヲ何艘ダケ造  
ルト云フコトハ権利ニアル、斯ウ云フコト  
ハ無論判ツテ居リマスルノデ、ソレヲ假リニ  
隻數ヲ申上ゲマスルト云フト、此度殘シ  
テ……今度ノ計畫ノ中ニ殘シテアリマシタ  
ノハ先程井上男爵カラモ御指摘ニナリマシ  
タヤウニ、驅逐艦六隻ト云フモノハ後ニ殘  
シテアル、ソレカラ機械水雷敷設艦ノ五千  
噸ガ一隻殘シテ、只今ノ航空母艦ノガ一隻  
サレテアリマス、更ニ昭和十一年度迄ニ於テ  
建造ニ著手シテ居ルテモ宜イト云フノヲ許  
残シテアリマス、即チ前ノ六隻ト合セマスト  
十三隻ハ造掛ケテモ宜イ、完成ヲスルノハ  
六隻以上ハ許サレナイノデアリマスガ、著  
手スルノハ更ニ七隻ヲ著手シテモ宜シイ、  
巡洋艦ハ矢張リ一万五千三百噸ダケ著手シ  
テモ宜シイ、建造シテ完成シテ宜シイト云  
フモノハ今度殆ド全部ヲ行使致シマシテ八  
千四百噸ノ巡洋艦ガ四隻出來ルコトニナ  
テ居ル譯デアリマス、ソレカラ潛水艦モ七

千二百噸ハ著手シテモ宜シト云フノガ  
三万一千九百噸ト云フモノガ剩<sup>マ</sup>テ居リマ  
スカラ、假リニ條約上ノ権利ヲ全部行使致  
シマスルト云フコトニナリマスレバ、只今  
ノヤウナ艦種隻數ナルモノヲ必要トスルト  
云フノデアリマスルケレドモ、海軍當局ト  
致シマシテ、之ヲドレダケノモノヲ何時カ  
ラ著手スルト云フコトニ致シマスルニ付キ  
マシテハ、今申上ゲマシタ外國ノヤリ方ガ  
ドウ云フ程度デアルカ……是ハ亞米利加モ  
英吉利モ似タモノデアリマスルケレドモ、  
ズット六年ニ亘<sup>マ</sup>テ全部此豫算ヲ以テノ計畫  
ヲ協贊ヲ經ルト云フ立前ニハナッテ居ラナ  
イノデアリマスルカラ、先ミノコトハ今度  
日本デ計畫ヲ出シマシタヤウニハ現ハレナ  
イノデアリマス、其年々ニ必要ナ隻數ダケ  
ヲヤリマスルガ、最近ノ亞米利加ノ上院、  
下院ヲ通過イタシマシタ海軍案ナルモノハ  
矢張リ航空母艦ト云フモノヲ豫算ニハアリ  
マシタケレドモ削<sup>マ</sup>テ居リマス、巡洋艦モ  
削<sup>マ</sup>テ居ルノデアル、潛水艦ノ方モ削リマシ  
タ、驅逐隊ヲ十一隻造ルト云フコトニナッテ  
居リマス、八時巡洋艦ハ繼續シテ造ルト云  
フコトニナッテ居ル、左様ニマダ——此權利  
全部ヲ行使スル歩合ト云フモノハナカ——

今日豫想ガ出來得ルモノデハナイノデアリ  
マス、從テ我帝國ダケハ今申上ゲマシタ權利ガアルカラ此權利ハ當然使テ宜イノダ  
カラ直ク豫算モ伴フ所ノ一ツノ計畫ヲヤッ  
タ方ガ宜イ、斯ウ云フヤウナ意味ニハナリ  
兼ネルノデアリマス、井上男爵モ申述ベラ  
レマシタヤウニ、最小ノ經費ヲ以テ最大ノ  
效力アル兵種ヲ備ヘテ海軍軍備ト云フモノ  
ヲ按配シテ行カナキヤナラスト云フコトハ  
申ス迄モナインデアリマスルカラ、從テ權利ガ茲ニアルカラ、皆ソレハヤッテシマハナ  
キヤナラヌト云フノデハナク、矢張リ相對的軍備ト云フモノガアリマスルカラ、ドウ  
シテモ是ハ外國ノアル所ヲ尙ホ見、毎度申シマスル技術ノ進歩變遷ト云フヤウナコトニ鑑ミマシテ、適當ニ此中ヲドレダケ行使シテ、サウシテドレヲ先ニシ、ドレヲ後ニスルカト云フヤウナコトヲ最モ適當ト當局ハ信ジテ、即チ茲ニ一ツノ計畫ヲ樹テ、サウシテ次ニ起ルベキモノハ條約最高限度ノ所謂權利ハ分<sup>ヲ</sup>ドノ程度ニドウ云フ種類ニドモ、其内容ヲドノ程度ニドウ云フ種類ニトガ具體的ニ計畫ガ立<sup>ヲ</sup>テ居ラヌト、斯ウ云フ重キヲ置イテ何時著手スルカ、斯ウ云フコトコトニ申上ゲテ居リマスルノハ、御承知ノ通リト存ジマスルノデアリマス、從テ水

野サンモ段々御話ガアリマシタ上衣デモ脱  
イデーツ打開ケテト云フ御話ガアリマシタ  
ガ、是ハ即チ打開ケテ赤裸々ニ御話シテ居  
リマスルノデ、決シテ茲ニ或計畫ガアッテ其  
計畫ニ付テノコトハ暫ク取テ置イテ外ニ  
現ハサズニ居ルンダト云フ ヤウナ意味合ハ  
畫ヲ持テ居ルンダト云フ ヤウナ意味合ハ  
決シテナインデアリマス、先程井上男爵ニ  
モ申上ゲマシタノデアリマスルガ、凡ソ海  
軍ノ一つノ計畫ヲ樹テマスル時分ニハ、之  
モ必要グラウ、之モ必要グラウト言テ、是  
カラ六年ナリ七年ナリニ瓦ル計畫デアリマ  
スルカラ、相當ソコニ必要ナモノモ竝ベマ  
スルガ、是ハドウシテモ財政トノソコニ調  
和ヲ圖ッテ、或ル實行的ノ案ニ立テ直サナケ  
レバナラヌコトハ當然ノ話デアル、即チ最  
初ニ軍部ニ於テ、之ガ必要グラウ、アレガ  
必要グラウト云フコトニ話ヲ進メシタ、  
其モノガ計畫全部ト云フ意味デハナイノデ  
アリマス、此度成立チマシタモノノ残リガ  
ニハ、軍事當局ハ考ヘテ居リマセヌ、之ダ  
ケノモノガ残ツテ居ルケレドモ、ソレハマダ  
幾年カノ後ニ最モ其當時ニ於テ國防ニ適當  
デアル、之ガ是非必要ダト云フ本當ノ狀勢  
カヲ按配シテ計畫ヲ立て、サウシテ其時ノ

内閣ニ於テ是非トモ是ハ國防上必要ダト云  
フモノニ付テハ、萬難ヲ排シテ、其成立ヲ  
期スルト云フコトガ、是ハ當然ノコトト考  
ヘルノデアリマス、從テ此度ノ計畫ト云フ  
モノヲ立テマシタ以外ニ、或ル計畫ヲ立テ  
ナケレバナラヌコトハ、モウ當然デアリマ  
ス、即チ其次ニ來ルベキ計畫ノ必要ト希望  
ガアルト云フコトハ屢々述べテ居リマスル  
ケレドモ、其内容ト云フモノハ今申上げマ  
シタヤウナ事情ニ依テ、サウ簡単ニドレド  
レト言ツテ指摘スルヤウナ譯ニイカナイノ  
デアリマス、尙又驅逐艦ガ六隻残ツテ居リマ  
スノデ、其噸數ニ付テ先程井上男爵ハ航空  
巡洋艦ト云フモノガ今度出來タ、是ハ亞米  
利加デ造ル、ソレモ日本ハ六割ホカナイト  
云フヤウナ意味ノ御詰ガアリマシタケレド  
モ、航空母艦ハ六割、華盛頓會議デアリマ  
スカラ六割ニナッテ居リマスガ、航空巡洋艦  
ト云フモノハ、總テ持ツテ居ル巡洋艦ノ二割  
五分ヲ、航空巡洋艦ニシテ宜イト云フノデ  
アリマスカラ、是ハ日本モ持ツテ居ル巡洋艦  
ノ總テラ航空巡洋艦ニスルト云ヘバ、ソレ  
シマスレバ七割ニナルガ、兩方ヲ合セマシ  
ハ六割デアリマセヌ、モットソレヨリ以上  
ニナルノデアリマス、八時巡洋艦ヲ別ト致  
テモ六割五分ニナリマスガ、併ナガラサウ

云フヤウナモノヲ假ニ必要ナリト致シマシ  
タ場合ニハ、井上男爵モ分科會カ何カデ既  
ニ御意見ガアリマシタ、其御意見ノ通り、  
茲ニ日本モ航空巡洋艦ト云フモノガ必要ダ  
ト言ヒマスルケレドモ、モウ此度四艘造<sup>タ</sup>  
カラ條約上ニハ頓數ハ持<sup>タ</sup>テ居ラナイノデ  
アリマス、併ナガラ日本ニ限ラズ各國巡洋  
艦ト驅逐艦トハ融通ガ出來ル、一割ノ融通  
ガ出來ルト云フコトニナッテ居リマスルカ  
ラ、日本デ持<sup>タ</sup>テ居ル巡洋艦ハ十万四百五十  
噸デアリマス、十万四百五十噸デアリマス  
カラ、其一割ノ約一万噸ト云フモノハ驅逐  
艦カラ融通シテモ宜イ権利ヲ持<sup>タ</sup>テ居ル、即  
チ驅逐艦ヲ造ルヨリカ寧ロ巡洋艦ヲ造ルノ  
ヲ適當トスルト云フコトニ考ヘマスレバ、  
即チ巡洋艦ヲ造<sup>タ</sup>方ガ宜イカモ知レス、サ  
ウ云フコトハ即チ外國ノ出様如何ニ依<sup>タ</sup>テ  
色ミ計畫ノ上ニモ影響ヲ來スノデアリマス  
ルカラ、即チ只今申上ゲマシタヤウニ、此  
度ノ計畫ヲ以テ一先ヅ茲ニ一段トシテ之ヲ  
以テ毎度申シマスルヤウナ骨幹ト云フモノ  
ハ、先程御説明ヲ申上ゲマシタヤウナ趣意  
ニト言<sup>タ</sup>タヤウナ種類ノモノガ、茲ニ網羅イ  
タシマシタノデアリマスルカラ、之ヲ以テ  
濟ム、而シテ當局ノ情勢ニ於テハ國防ニ不

モノニ付テハ能ク外國ノヤル所ヲ見テ、一ツ最モ適切ナ計畫ヲ立テルヤウニシタガ宜イ、斯ウ云フヤウナ意味ニ於テ、第二次計畫ト云ヒマスカ、次ノ計畫ナルモノノ内容、時期ト云フモノハマダ極テ居リマセヌ、斯ウ云フコトヲ幾度モ申上ゲテ居リマスル次第デアリマス、尙ホ其財源ノコトニ付キマシテハ是ハ幾度モ申上ゲマシタガ、昨日水野サンノ御尋ニ對シテ申上ゲマシタヤウニ、是ハモウサウ云フモノノ必要ガアル以上其處ニ財源ノナケレバナラスト云フコトハ明カデアリマスルケレドモ、是ハ大藏大臣モ時ミ申述ベラレマシタヤウニ、何時ノ時代ニモ財源ナルモノヲ此補充計畫ニ對シテ殆ド全部ニ近イモノヲ用意シテアッタト云フ例ハ無論アリハシマセヌデアリマス、此昭和六年カラ、各國トモ華盛頓條約ニ依リマシテ戰艦建造ニ著手シナケレバナラヌノデアリマス、戰艦ノ建造ニ著手シナケレバナラヌト申シマスルノデ、倫敦會議ガナケレバ當然茲ニ代艦ヲ著手シナケレバナラヌ、サウスレバ一年ニ一艦ヅ、著手スルト云フコトニナリマシテ、其費用ヲ考ヘテ見マスルト云フト、到底此前ノ内閣時代カラ毎年六千五百万圓ヅ、取テアッタ所謂

製艦費ナドテハ到底は賄テ行ケル筈ハ  
ナイノデアリマス、併ナガラソレハ其時ノ  
情勢ニ於テ、是非トモ日本ハ主力艦ガ必要  
ナリトシテ昭和六年度カラ著手スル場合  
ハ、何トデモソコニ方法ガ付ケ得ラレルト  
云フ意味ヲ以テ、進ンデ參ッテ居リマシタヤ  
ウナ次第デアルノデアリマス、此度モ昨日  
申上ゲマシタヤウニ、此度ノ計畫ガ十一年  
度ニ終リマシテ、十二年度カラハ更ニソコ  
ニ六千万圓ヅツノモノガ取<sup>ク</sup>テアリマス、ソ  
レ昭和九年ナリ十年ナリ、兎ニ角、昭和  
十一年度以前ニ於テ著手スル爲ニ相當茲ニ  
冠サ<sup>ク</sup>タ、冠サリマスコトモ、是ハ種々ノ關  
係上、防禦能力ト云フヤウナ關係ガアツテ、  
既ニ其時モ製艦費ト云フモノハ、五千五百  
万圓程度ノ製艦費ハ今度ノ計畫ノ中ニ昭和  
十一年ニモアルノデアリマスカラ、サウ云  
フソコニ非常ニ大キナモノヲ其時ダケ冠セ  
ルト云フヤウナ意味ニモナラヌ譯ニナルニ  
違ヒナイ、是ハ、矢張リ六年計畫ナリ、八  
年計畫ナリ或計畫ヲ以テ海軍計畫ト云フモ  
ノガ起ルノデアリマスカラ、其冠セルト云  
フコトニ付テノ財源ト云フモノハ、大藏大  
臣アタリカラモ段々話ガアリマスルヤウ  
ニ、何トデモ方法ヲ取り得ルモノトシテ、  
特ニ其爲ニ財源ト云フモノヲ今日カラ掲ゲ

イ、斯ウ云フ意味ニナッテ居リマスル次第  
○水野鍊太郎君 尚ホ一黙承ツテ置キタイ、  
先程井上男爵ガ御朗讀ニナリマシタ軍事參  
議官タル加藤大將カラノ私見デアリマス  
カ、ア、云フ意見ハ私初メテ承ツタ、アレハ  
何デスカ、海軍省、海軍當局ニ於テハ別ニ  
認メテ居ルノデハナク、加藤大將ノアレハ  
一私見ニ過ギナイト云フ譯デアリマスカ  
○國務大臣(男爵安保清種君) 豫算委員會  
デアリマシタカ、花井サンノ御尋ニ對シテ  
御答ヘ致シマシタヤウニ、加藤大將ガ、サ  
ウ云フコトヲ具體的ニ言明サレタトハ思ヒ  
マセヌ、斯ウ御答ヘ致シマシタノデアリマ  
スガ、其通リデアリマス  
○森田福市君 差支ヘアリマセヌカ  
○委員長(伯爵柳澤保惠君) ドウゾ  
○森田福市君 海軍大臣ノ……他ノ委員ノ  
御方ノ御尋ト、海軍大臣ノ御答ト、斯ウ此  
處ニ座ツテ聽イテ居ルト云フト、問ハレル方  
ノ要領ハ能ク分リマス、答ヘル方ノ要領モ  
能ク分リマスガ、海軍大臣ガ大分御答辯ガ  
御上手ニナラレタノカ、又ハ的ヲ外サレル  
ノカ、或ハサウデナクシテ、ア、云フ風ニ  
答ヘラレルノカ、ソコガチヨット分ラヌノダ

ガ、私ハ間ハレル方ノ人ノ要領ハ能ク分  
カ、艦種トカ云フコトニ付テハ、我ミハ玄  
人デナイ、素人デアルカラ全然知ラナイ、  
併シ要スルニ第二次ノ計畫ガアルト云フコ  
トハ、海軍大臣ハ明カニ言ハレテ居ラレル、  
サウスルト今ノ茲ニ我ミノ腑ニ落チナイノ  
ハ、第一次計畫ガイツ頭ヲ出スカ、內容ハ  
別問題……屢々海軍大臣ハ同ジコトヲ繰返  
シテ居ラレルガ、内容ハ外國ノ將來ノ情勢  
ヲ見テ見ナケレバイケナイ、私ハ御尤ダ其  
通リデアラウト御察シスル、併シ内容ハド  
ンナモノデアラウト、鬼モ角、第二次ノ計  
畫ガアルト云フコトハ、モウ争フ餘地ノナ  
イ問題ニナッテ來テ居ル、サウスルト其第  
二次ノ計畫ハ一體昭和九年デアルカ、十年  
デアルカ、十二年デアルカト云フコトガ分ラ  
ナイガ、イツ其頭ヲ出スモノデアルカ、サ  
ウシテ其財源ハ斯ウ云フ減稅ヲスル重要ナ  
場合デアルカラ、此減稅ヲ斷行シテ、ソレ  
ダケノ國稅ノ收入ヲ二千五百万圓モ減稅ス  
ルヤウナコトヲシテモ……是ハ實ハ減稅デ  
ハナイガ、其點ハ何レ別ナ機會ニ於テ述べ  
ルガ、是ハ減稅ト言ハレテモ、一方ノ人間  
カラ取り上げテ、一方ノ人間ニクレテヤル  
ダケデアツテ、何等總體的ノ減稅ニモ何ニモ

ナラナイガ、其議論ハ今シマセヌ、サウ云  
フモノヲ減税シテモ第二次計畫ノ頭ヲ出ス  
時ニハ何トカスルト云フコトデハ、我ミニハ  
分ラヌカラ、所謂此財源ヲ以テ、此程度ハ  
充テヤウト云フコトヲ、大藏省ト話ガ付イ  
テ居ルカト云フコトヲ明瞭ニ聞キタイ、唯  
大藏大臣ト海軍大臣トノ間ニ、今ノ海軍大  
臣ノ話デハ何トカスル、ソレハ從來ト雖モ  
斯様ナ補充計畫ニ對シテ全部ノ財源ヲ留保  
シテアッタコトハナイ、斯ウ仰シャッテ居リ  
マスガ、五十六議會頃カラ、今度ノ五億八  
百万圓ハハキラ決マッテ居タ、五億八百万  
圓ノ總財源ハ一ヶ年約六千万圓デ決マッテ  
居タ、デアルカラ今度ノ第二次計畫ガソ  
コガハキリサヘスレバ、昭和十年頃カラ、  
從テ此財源是レクノモノヲ持ツ  
テ行クヤウニナッテ居ル、此減税シテモ何等心  
配ハナイ、海軍トシテモ差支ヘナイ、無論昭  
和九年ニナッテモ十年ニナッテモ、其頃ニ二  
度目ノ内閣ガ出來レバ、今ノ内閣ガ出來ル  
カ、或ハアナタ方ノ二度目ノ内閣ガ出來レ  
バドウカ知ラヌガ、ソレハドウ云フ内閣ガ  
シナルカ分ラヌノデアリマスガ、分ラヌニ  
シテモ文書ノ上デ明カニシテ置カヌト、國  
民ノ代表者デアル我ミガ此減税案ノ贊否ヲ

云フ風ニ質問シテ居ラレルヤウニ私ハ聽イ  
テ居ルノデアリマス、海軍大臣ハ其内容ニ  
付テハ隨分千言万言ヲ費サレルノデアリマ  
スガ、財源ノ所ニ至ルトコソノト言ハレ  
ルダケデ、ソコガハキラトシナイ、委員ノ  
分ル人ニハ宜イガ、私等ノヤウニ頭ノ悪イ  
者ニハ分ラナイ、デ質問スル人ハ大體分ラ  
ヌ人間ガ聽キマス、能ク分タ人ハ問ヒマセ  
ヌ、能ク分タ人ハ其必要ガナイガ、私ノヤ  
ウナ、ツマラヌ頭ヲ持ツテ居ル者ハ根據リ  
葉掘リ聽イテ見ヌト、ソコガ能ク分ラヌ、  
ダカラ得心ガ行クヤウニ説明ヲシテ貰フノ  
ニハ、質問ノ要旨ト答辯要旨ト喰違ヒガ出  
來ナイヤウニサヘシテ貰ヘバ、早ク進ミハ  
セヌカト考ヘマスガ、此點ヲ第一トシテ伺  
ヒマス、ソレカラ續イテ、第二ニ斯ウ云フ  
コトヲ私ハ聽クノデス、一體私ハ擴張論者  
デハナイ、先般來屢々申上ゲマス通り、陸  
軍ノ擴張ヤ海軍ノ擴張ハ無論言ハヌデモ宜  
シ、陸軍ナゾ縮小々大縮小、内治ニ備  
ヘルダケデ結構デアル、海軍モ二次計畫デ  
モ三次計畫デモ、現在貰シテ居ル二億圓ノ  
中カラ持ツテ行クカラ心配スルナ、決シテ國  
民ニ苛斂誅求ハシナイカラト、ハキリ仰シ  
ヤレバ、根據リ葉掘リ問フ者ハナイノデア

リマスガ、私ハ軍擴論者デナクテ、大橋サ  
ント同感ノ論者デ、要スルニ、此上、國民  
ノ負擔ガ増スヤウナコトヲヤッテ貰シテ  
ケナイ、減税ノ如キモノモ、蟹ノ涙見タヤ  
ウナコトヲシテ貰ハズ徹底的ニ國民ガ助カ  
ルヤウナ減税ヲシテ貰ヒタイ、或ハ瑞典ノ  
國見タヤウナ風ニ一切喧嘩ヲセヌ、餘所ノ  
テ、全部廢シテシマッテモ異論ハ一ツモナ  
フト、先づ第一、將校ガ多過ギル、兵隊ハ  
宜インデスガ、他デ勵イテ居ルンデスカラ、  
云フ譯ニイカヌト云フノデ、軍縮ハ困難ノ  
ヤウニ聞イテ居ルガ、海軍ノ方ハサウ詳シ  
クナイカラ知ラヌガ、併ナガラ海軍デモ斯  
ウ云フコトヲ聞イテ居ル、私ガ聞イタノニ  
ハ、今度ノ倫敦條約ハ失敗ダト、内部ノ人  
モ言ハレルノデアリマスガ、ドナタガ仰シ  
ヤッタカマデ、サウ云フコトハ言フ必要ハナ  
イガ、私ハ海軍大臣モコイツハ肚ノ中デハ  
知シテ居ル、ト思フコトハ、倫敦ニ居ラレテ  
能ク知シテ居ラレル、アナタノ倫敦デ話サレ  
タコトモ私ハ軍人カラ聞イテ知シテ居ル、サ

ハサウ云フコトハ言ハレヌコトハ分シテ居  
ル、ソコデ私ガ聽キタイノハ、海軍ノ軍人  
ニハ懸引ガアルカナイカ、ソレヲドウシテ  
聽クンダカト云フト、我ミノ所ヘ海軍ノ古  
イ將校……古イ將校ト言ヘバオカシイガ、  
在郷軍人ガヤッテ來テカラニ、今度ノ對英對  
米ニ關スル補助艦ノ今度ノ問題ハ、七割ヲ  
要求シナケレバイカヌノダ、今ハ國民外交  
ニ待タナケレバナラヌカラ、一つ會議所ヲ  
貸シテ吳レ、公會堂ヲ貸シテ吳レ、ソコデ  
演說會ヲ開イテ、國民ニ徹底サシテヤラナ  
ケレバナラヌト云フ軍人サンノ話、自分ハ  
軍人ナラヨモヤ嘘ハ言フマイ、政治家ハ嘘  
バカリ言ウテ居ルカラ是ハ信ジナイガ、先  
ヅ軍人ナラ嘘ハ言ハヌダラウ、眞ニ七割補  
充シナケレバ、國防ヲ充實ヲ圖ル譯ニイカ  
ヌ、國防ヲ完ウスル譯ニイカヌ、是ハ事實  
ノコトデアラウト思フ、サウ云フ風ニ我ミ  
ハ信ジテ、其御先棒ヲ承シテ、色ニノ御世  
話ヲシテ、電報ヲ打ッテ吳レト云フノデ、經  
費ヲ使シテアナタ方ノ所ヘ、倫敦ヘ行カレタ  
人ノ所ヘ電報ヲ打ッテ、色ニノ國民運動デ金  
ヲ使ハレテ、サウシテ全權ノ人ミハ亞米利  
加ヘ寄シテ、亞米利加デモ頻リト宣傳ヲサ  
レテ、如何ニモ日本ハ對米七割ヲ保タナケ  
レバイカヌト云フコトヲ誠シヤカニ宣傳サ

云フコトヲ決シテ疑フノデハナイ、是マデ事實トシテ私共ハ思ッテ居タガ、サレバト云ウテ、條約ヲ締結シヤウ、調印シヤウト云フ段取ニナルト、ソレヲ非常ニ御負ケニナッタ、茲ニ私ハアチラコチラデ聽カレテ居ルガ、日本ハ實際對米七割ヲ持タナケレバ國防ヲ全ウスルコトガ出來ナイト云フガ、ソレハ懸引デアッテ、實ハアノ程度ニ負ケテモ差支ナイノカ、若シ負ケタラ日本ノ軍人ハ餘り信用出來ヌガ、又懸引デナイトシタナラバ、日本ハ國防ガ危ナイ、其何レニ屬スルカト云フヤウナ質問ヲ受ケタノデアリマス、昨年ノ夏デアリマス、ソコデ私等モ實際ノコトハ知ラヌ、ドッヂガ事實カ、七割ヲ保持シナケレバ國防ガ心配デアルカ、若シサウデアルナラバ大變デアル、併シ調印サレタ所ヲ見ルト、サウデモナイ、アレハ海軍ノ勢力ヲ維持スル爲ニ言ウタノデ國防ニハ實ハアレデモ宜イト云フ風ニ取ッテモ宜イヤウニ想ハレルガ、一體軍人サンノ言ハレルコトハ、國民トシテ、ドノ程度マデガ事實トシテ、ドノ程度マデガ懸引デアルカ、割引ヲシテ聞ケバ宜イカ、是ガ第二點、ソレカラ第三點ハ斯ウ云フコトヲ言ウテ居ル、實ハ海軍大臣ハ是ハ一體ドウ思ハレル

カ知ラヌガ、去年海軍ノ大演習ガアッタ、大演習力中演習カ知リマセヌガ、兎ニ角演習ト云フモノガアッタ、其當時ノ海軍ノ將校ノ話デハ、ドウモ今度ノ演習位力ノ付カヌ演習ハ無カッタ、モウ茲四五年ニテ亞米利加ト戦争スレバ負ケルト云フコトガ決ツ居ルカラ、此演習位元氣ノ出ヌ演習ハ無カッタト云フコトヲ海軍ノ將校ガ話シタ、是ハ或ル將校ノ話デアルガ、其點ハ果シテドウデアルカ、我ニ色ニ海軍々人デ知ツテ居ル人ガ、現在亞米利加ト戦争ヲスレバ勝テル、現在ノ國防、兵備ト云ブカ、兵力ト云フカ、ソレデアレバ勝テル、併シ千九百三十年以後ニヤレバ、必ズ負ケル、ドウシテモ國防ヲドンナニ補充機關ヲ備ヘテ見タ所デ、ソレハ駄目ダ、肝腎要ノモノガ足ラヌカラ、飛行機ヲ増シタリ、航空母艦ヲ増シタリ、色ニ算段ヲヤッテモ、ソレハ唯机ノ上デヤッテ經費ヲ使フダケデ、實戰ニ際シテハサウ簡単ニ行クモノデヤナイ、ダカラ千九百三十五年マデニ戦争ヲスレバ負ケナイガ、千九百三十五年以後ニヤレバ負ケルト云フコトヲ話シマシタガ、併シ是ハ假定的ノ問題デ、海軍大臣ノ方カラ言ハレルナラバ負ケヌト云ウテモ差支ナイカモ知レナイ、實際ハ今日矢張リヤラヌノダカラ……

ヤルナラバ、負ケル負ケヌトサウ簡単ニ返事ハ出來ヌトイシテモ、ヤラヌノダカラ宣イト云フコトハ、御答辯ガ出來ヌコトハナカラウト思ハレルガ、ソコデ私ハ井上男爵ニ加藤大將カラ御寄越シニナッタ毛紙ヲ見テモ、眞剣ニ御考ヘニナッタナラバ、現在ノ儘デアルナラバ勝テルガ、千九百三十五年後ハ勝テサウニナイカラ、勝テルナラバ一戦ヲ交ヘテモ宜イ、ソノ位ノ勇氣ガ海軍當局ニハアツテ欲シイ、實際私ハ負ケサウニナイ、勝テサウナ場合ニヤッタ方ガ宜イト云フ考ヲ持テ居ル、今日國民思想ガ斯ウ云フ風ニナッテ居ル場合、實際ヤッタ方ガ宜シイ、國民ノ士氣ガ沮喪シテ居ル時デアルカラ、一戰ヲ交ヘレバ左傾思想ナドハフツ飛バシテシマフコトガ出來ル、簡單ナモノデアルカラ、大イニ勇氣ト云フモノガ必要デアルト言ウテヘコタレサウデアルガ、先ヅ此三點ヲ聽イテ、ソレカラ又御尋ヲ致シマス〇國務大臣(男爵安保清種君) 森田サンノ御尋ニ御答ヘ致シマスガ、第一ハ段々兵力得ルト云フコトノ了解ヲ得テ減税ニ贊成シ量等ノ事ニ付テノコトハ了解イタシタガ、其財源ト云フ所ニ於テ、何處カラ其財源ヲテ居ルカト云フヤウナノガ、第一ノ御問ダ

ト思ヒマスガ、是ハ幾度カ申上ゲマシタコ  
トヲ繰返スヨリ外ナイノデアリマシテ、今  
申上ゲマシタ十一年度迄ノモノガ今度ノ計  
畫、十二年度ノ六千万圓デカブセルト云フ  
意味ノ財源トシテハ取テナインノデアリマ  
スガ、併ナガラソレハ大藏大臣モ、此處デモ  
豫算委員會ノ席デモ申サレマシタヤウニ、  
何トデモ繩合セハ付ケ得ル、ダカラ斯ウ云  
フ決心ヲ持テ居フレル、今日ソレヲ何カラ  
ラ、或ハ増税トカ、或ハ公債トカ、或ル具  
體的ナ方法ヲ以テハ申上ゲラヌト云フコ  
トヲ、大藏大臣モ言テ居ラレマシタノデ、  
私カラモ其決ッタ財源ハ何カ、何處カラソレ  
ヲ集メルカト云フ意味ノ事ニ付テハ、是ハ  
其時ノ大藏當局ヲ信賴シテヤル外ナイノデ  
アリマシテ、茲ニ私カラ具體的ニ之ヲ何カ  
ラ求メルト云フ約束ガアッタカラト云フコ  
トハ、申上ゲラレマセヌ次第デアリマス、  
ソレカラ第二ノ海軍ガ駆引ガアルト云フコ  
トノ意味ガアリマシタガ、是ハ或ル場合ノ  
座談等ニモ往々出ル言葉カト存ジマスルケ  
レドモ、是モ色ニノ機會ニ申上ゲマシタヤ  
ウニ、此度ノ倫敦會議ニ臨ムニ方テ、我ガ  
帝國ノ所要兵力ト云フ意味ニ於キマシテ、  
三大主張ヲ致シマシタ、其上臺ニ於キマシ  
テハ、是ハ數年ノ演習其他種々ノ研究ノ結

果茲ニ至リマシタノデ、今日ノ作戦計畫ヲ遂行スルニハ、此兵力ノ按配ガ最モ適當デアル、有效デアルト云フコトノ、其非常ナ堅イ信念ヲ以テ臨ミマシタコトニハ、駆引モ何モアツタ譯デハナイ、併ナガラ是ハ海軍當局ガ此信念ヲ以テ進ミマシタ事柄ト、ソレカラ此倫敦會議ニ於テ、帝國ガ大局カラ見テ斯ウ云フ方法デ之ヲ纏メテ行カナケレバナラヌト云フコト……條約上ニ決メマシタ事柄ト、ソコニ若干ノ喰違ヒガアル、其喰違ヒガアツタコトニ依ッテ、何モ海軍ガ駆引ガアルト云フ意味ニハ私ハナラヌカト存ズルノデアリマス、勿論最初ノ主張ト異ル譯デアリマスルカラ、海軍當局トスレバ、ソレハ涙ヲ呑ンデ其條約ヲ見タデアリマセウ、即チ今日ニ於テハ斯ウ決マリマシタ……國際的ニ決マリマシタ以上ハ、ソレノ上デ以テ此約束ノ上カラ出テ來タ所ノ拘束ヲ色々考慮シテ、是デ最モ適當ナル國防ト、兵種ノ按配ヲシナケレバナラヌト云フ所カラ、慎重審議ノ上デ初メテ茲ニ提出イタシマシタノガ今度ノ計畫ト、斯ウ云フ意味ニナルノデアリマシテ、其邊ハ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス、第三ノ昨年ノ大演習ニ於テノ士官ノ話ト云フ、澤山ノ士官ノ中ニハ色ノ考ヲ以テ、サウ云フコトモ洩シタ者モア

ルデアリマセウ、併シ是ハ森田サンノ御話ノヤウニ、三十五年以前ノ一戰ト云フヤウ當局ガ此信念ヲ以テ進ミマシタ事柄ト、ソレカラ此倫敦會議ニ於テ、帝國ガ大局カラ見テ斯ウ云フ方法デ之ヲ纏メテ行カナケレバナラヌト云フコト……條約上ニ決メマシタ事柄ト、ソコニ若干ノ喰違ヒガアル、其喰違ヒガアツタコトニ依ッテ、何モ海軍ガ駆引ガアルト云フ意味ニハ私ハナラヌカト存ズルノデアリマス、勿論最初ノ主張ト異ル譯デアリマスルカラ、海軍當局トスレバ、ソレハ涙ヲ呑ンデ其條約ヲ見タデアリマセウ、即チ今日ニ於テハ斯ウ決マリマシタ……國際的ニ決マリマシタ以上ハ、ソレノ上デ以テ此約束ノ上カラ出テ來タ所ノ拘束ヲ色々考慮シテ、是デ最モ適當ナル國防ト、兵種ノ按配ヲシナケレバナラヌト云フ所カラ、慎重審議ノ上デ初メテ茲ニ提出イタシマシタノガ今度ノ計畫ト、斯ウ云フ意味ニナルノデアリマシテ、其邊ハ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス、第三ノ昨年ノ大演習ニ於テノ士官ノ話ト云フ、澤山ノ士官ノ中ニハ色ノ考ヲ以テ、サウ云フコトモ洩シタ者モア

○森田福市君 第一ノ問題ハ相變ラズ要領ヲ得マセヌ、結局海軍大臣ノ仰シヤルコトハ、財源ガナイト云フコトハ能ク分リマシタガ、大藏大臣ガ其時ニ至ラテ……其時ノ大藏大臣、今ノ大藏大臣ガト云フ意味デアハリマセヌ、其時ニ至ラテ、其時ノ大藏大臣ガ昭和十年ノ中ニ入レル、即チリマセヌガ、昭和十年ノ中ニ入レル、即チタガ、大藏大臣ガ其時ニ至ラテ……其時ノ大藏大臣、今ノ大藏大臣ガト云フ意味デアハリマセヌ、其時ニ至ラテ、其時ノ大藏大臣ガ言ハレル、尤モ今ノ大藏大臣ガ昭和十年迄御續キニナルカ知レマセヌガ、其時ノ大藏大臣ガト云フ意味デアリマス、ソレデハ少クモ委員ノ中ノ一人トシテ考ヘルノニハ、賴リナイヤウニ思フノデアリマス、寧ロ公債、増稅或ハ是ミ云ミノ財源ニ依ル、此三ツノ中ノ一つガ現レテ來ヌ限り、財源ガナイト云フ結論ニ私ハ到達シハシナイカ、或ハ私ノ言フヤウニ、ドチラデモ宜イ、公債ニ依ッテヤルトカ、或ハ增稅ニ依ッテヤルトカ、ドチラデモ宜イ其時ノ海軍ノ費用ヲ、二億圓ノ豫算ヲ以テヤルコトニナルトカ云

ノヤウナ風ニ、ハッキリシテ吳レバソレデレバ、唯無暗ニ減稅ヲシテモ、其時ニ至ラテ直ニ又公債ニ依レバ、其利子ヲ國民ハ負擔ナ意味ノコトハ、是ハ御答ヲ差控ヘルノガ適當ト思ヒマスガ、兎ニ角今日ニ於テ軍人一意其本分ニ邁進シツ、アリマス點ダケハ、此際申上ゲテ置キマス

○森田福市君 第一ノ問題ハ相變ラズ要領ヲ得マセヌ、結局海軍大臣ノ仰シヤルコトハ、財源ガナイト云フコトハ能ク分リマシタガ、大藏大臣ガ其時ニ至ラテ……其時ノ大藏大臣、今ノ大藏大臣ガト云フ意味デアハリマセヌ、其時ニ至ラテ、其時ノ大藏大臣ガ言ハレル、尤モ今ノ大藏大臣ガ昭和十年迄御續キニナルカ知レマセヌガ、其時ノ大藏大臣ガト云フ意味デアリマス、ソレデハ少クモ委員ノ中ノ一人トシテ考ヘルノニハ、賴リナイヤウニ思フノデアリマス、寧ロ公債、増稅或ハ是ミ云ミノ財源ニ依ル、此三ツノ中ノ一つガ現レテ來ヌ限り、財源ガナイト云フ結論ニ私ハ到達シハシナイカ、或ハ私ノ言フヤウニ、ドチラデモ宜イ、公債ニ依ッテヤルトカ、或ハ增稅ニ依ッテヤルトカ、ドチラデモ宜イ其時ノ海軍ノ費用ヲ、二億圓ノ豫算ヲ以テヤルコトニナルトカ云

ノヤウナ風ニ、ハッキリシテ吳レバソレデレバ、唯無暗ニ減稅ヲシテモ、其時ニ至ラテ直ニ又公債ニ依レバ、其利子ヲ國民ハ負擔ナ意味ノコトハ、是ハ御答ヲ差控ヘルノガ適當ト思ヒマスガ、兎ニ角今日ニ於テ軍人一意其本分ニ邁進シツ、アリマス點ダケハ、此際申上ゲテ置キマス

○森田福市君 第一ノ問題ハ相變ラズ要領ヲ得マセヌ、結局海軍大臣ノ仰シヤルコトハ、財源ガナイト云フコトハ能ク分リマシタガ、大藏大臣ガ其時ニ至ラテ……其時ノ大藏大臣、今ノ大藏大臣ガト云フ意味デアハリマセヌ、其時ニ至ラテ、其時ノ大藏大臣ガ言ハレル、尤モ今ノ大藏大臣ガ昭和十年迄御續キニナルカ知レマセヌガ、其時ノ大藏大臣ガト云フ意味デアリマス、ソレデハ少クモ委員ノ中ノ一人トシテ考ヘルノニハ、賴リナイヤウニ思フノデアリマス、寧ロ公債、増稅或ハ是ミ云ミノ財源ニ依ル、此三ツノ中ノ一つガ現レテ來ヌ限り、財源ガナイト云フ結論ニ私ハ到達シハシナイカ、或ハ私ノ言フヤウニ、ドチラデモ宜イ、公債ニ依ッテヤルトカ、或ハ增稅ニ依ッテヤルトカ、ドチラデモ宜イ其時ノ海軍ノ費用ヲ、二億圓ノ豫算ヲ以テヤルコトニナルトカ云

ノヤウナ風ニ、ハッキリシテ吳レバソレデレバ、唯無暗ニ減稅ヲシテモ、其時ニ至ラテ直ニ又公債ニ依レバ、其利子ヲ國民ハ負擔ナ意味ノコトハ、是ハ御答ヲ差控ヘルノガ適當ト思ヒマスガ、兎ニ角今日ニ於テ軍人一意其本分ニ邁進シツ、アリマス點ダケハ、此際申上ゲテ置キマス

○森田福市君 第一ノ問題ハ相變ラズ要領ヲ得マセヌ、結局海軍大臣ノ仰シヤルコトハ、財源ガナイト云フコトハ能ク分リマシタガ、大藏大臣ガ其時ニ至ラテ……其時ノ大藏大臣、今ノ大藏大臣ガト云フ意味デアハリマセヌ、其時ニ至ラテ、其時ノ大藏大臣ガ言ハレル、尤モ今ノ大藏大臣ガ昭和十年迄御續キニナルカ知レマセヌガ、其時ノ大藏大臣ガト云フ意味デアリマス、ソレデハ少クモ委員ノ中ノ一人トシテ考ヘルノニハ、賴リナイヤウニ思フノデアリマス、寧ロ公債、増稅或ハ是ミ云ミノ財源ニ依ル、此三ツノ中ノ一つガ現レテ來ヌ限り、財源ガナイト云フ結論ニ私ハ到達シハシナイカ、或ハ私ノ言フヤウニ、ドチラデモ宜イ、公債ニ依ッテヤルトカ、或ハ增稅ニ依ッテヤルトカ、ドチラデモ宜イ其時ノ海軍ノ費用ヲ、二億圓ノ豫算ヲ以テヤルコトニナルトカ云

畫トハ云ヘナイ、不安心ナモノデ、斯ウ云  
フ不完全ナ計畫ニハ迫モ信ヲ置クニハ足ラ  
ヌ、ソレデハドウシテモ質疑應答スルニシ  
テモ工合ガ惡イト考ヘマス、デアルカラモ  
ウ少シ、國務大臣トモアルベキ人ハ、モット  
能ク研究サレテ、ハキリトスウ云フ方面力  
ラ此財源ヲ捻出スルノダカラ少シモ心配無  
用デアル、是ハ海軍ノ費用ノ中カラソレダ  
ゲ出スト云フコトガハキリシタラ、ソレハ  
大藏省モ喜ブシ、國民モ喜ブグラウト思ヒ  
マス、併シソレガドウモハキリセヌノデア  
リマス、ソレガドウナルカ分ラヌカラ、ソ  
コヲモウ少シハキリト聽カシテ貰ヒタイ、  
ソレカラ第二ハ倫敦條約ニ行ッテ、……思ウ  
テ行ッタ事トヤタ事トニ、鶴ノ嘴ノ喰違ガ  
出來タ、斯ウ云フコトガ有ッタノデアリマ  
スガ、若観サント海軍大臣ト顧問ノアナタ  
ト一緒ニ行ッテ居タノデアリマスカラ、毎  
日膝突合セテ日本側ノ全權會議ヲ開イテ、  
其所ディカヌケレバイカヌ、宜ケレバ宜イ、  
何モ海軍ノ信念ヲ曲ゲテ迄成立サセナケレ  
バナラヌト云フモノデヤアリマスマイ、是  
ハ對米七割ト云フモノヲ保持シナケレバ國  
防ガ安全ヲ期セラレナイ、斯ウ云フ風ニ宣  
傳ヲサレ、是ハ議會デモ我ミガ屢々聞イテ  
モ居タシ、又中央ヘ海軍ノ軍人ガ御越シニ

ナツテ會合ヲシテ宣傳ヲシタ時モ其通り、デ  
アルカラ喰違ガアルベキ筈デナシ、又喰違  
ガナイヤウニセナケレバナラヌ、又喰違ガ  
アツタナラバ、調印セヌヤウニ阻止サレタラ  
宜カツタノデヤナイカ、何モ亞米利加ヤ英國  
ニ遠慮ナドスルニハ及バナイ、ソレデ今日  
向ウデハドウカト云フト、向ウデハ日本ニ  
對スル空氣ガ好イナント云フコトヲ言テ  
居ルガ、ソレハ向ウハ空氣ノ好イノハ當リ  
前デアル、日本ヲトチメルノニ都合ガ好  
クナッタカラ、向ウノ空氣ガ好イノデアツテ  
ガアルト思ヒマス、今ノ政府ノ人ハ、非常  
ニ之ヲ成功ダ、亞米利加ヤ英國ノ連中ガ日  
本ノ者共ニ對シテ大變好イ感ジヲ持ッテ居  
ルト言、テ居ラレルガ、誰デモ喧嘩ラシテ勝  
テサウニ都合好クナレバ、其相手ニ對シテ  
好イ感ジヲ持ツシ、ソレガ又アベコベニ負  
ケサウナコトニナレバ、惡イ感ジニナルコト  
ガ、是ハ私ハ詳シイコトハ言ハヌガ、是ハ  
主カ栃木縣ナドニ減ル人ガアツテモ、地方稅  
ニ於テ増スノデアル、而モ一部ノ農民カ地  
主カ栃木縣ナドニ減ル人ガアツテモ、地方稅  
ガ、是ハ私ハ詳シイコトハ言ハヌガ、是ハ  
増スコトニナル、サウシテ増シタ上ニ、地  
方稅トシテ附加稅ノ出來ナ、イモノハ戸數別  
ニ持ッテ行、テ掛ケテ、從來ノモノヲ取ルノ  
デアリマスカラ、國民全般トシテハ一錢一  
厘モ減稅ニハナ、テ居ラヌ、減稅々々ト云  
テ述べ立、テ居ルガ、全クアレハ間違デヤナ  
シイ立場ニ立、テ居ラレルモノダト思フカ  
ラウト思フ、デアルカラ此點ハ、海軍大臣  
本人自身ハ好イ感ジヲ持ツテ居ル者ハ少カ  
ハ分ッテ居ル、當リ前ノコトデアル、併シ日  
本ノ者共ニ對シテ大變好イ感ジヲ持ツシ、ソ  
レガ又アベコベニ負ケサウナコトニナレバ、惡  
イ感ジニナルコトニナレバ、其相手ニ對シテ  
好イ感ジヲ持ツシ、ソレガ又アベコベニ負  
ケサウナコトニナレバ、惡イ感ジニナルコト  
ガ、是ハ私ハ詳シイコトハ言ハヌガ、是ハ  
増スコトニナル、サウシテ増シタ上ニ、地  
方稅トシテ附加稅ノ出來ナ、イモノハ戸數別  
ニ持ッテ行、テ掛ケテ、從來ノモノヲ取ルノ  
デアリマスカラ、國民全般トシテハ一錢一  
厘モ減稅ニハナ、テ居ラヌ、減稅々々ト云  
テ述べ立、テ居ルガ、全クアレハ間違デヤナ  
シイ立場ニ立、テ居ラレルモノダト思フカ  
ラウト思フ、デアルカラ此點ハ、海軍大臣  
本人自身ハ好イ感ジヲ持ツシ、ソレガ又アベ  
コベニナレバ、惡イ感ジニナルコトニナレバ、  
其相手ニ對シテ好イ感ジヲ持ツシ、ソレガ又  
アベコベニナレバ、惡イ感ジニナルコトニナ  
レバ、國際汽船ニ預金部カラ貸シテ居ル金  
デハ、國際汽船ニ預金部カラ貸シテ居ル金  
ヲ、一般會計ニ肩替リラシヤウト云フ時ニ、  
會期ノ末日ノ十一時五十何分ニナツテモ質  
問ガ盡キナカツタ、私ハ二日カ三日ヤラシテ  
貰ヘバ、ソレデ終ルノデアリマスガ、私ガ  
サウ云フコトヲヤルト云フ前觸レデナイコ  
トハ、御承知置キヲ願ヒマス、今頃質問ハナ

ニセズニ、或ル程度デ行キ居ル積リデアリ  
マスガ、肚ノ底ハ大變御骨ノ折レルコトダ  
ル、一體地租法ハ地租法ノ改正ガアリ、又  
營業收益稅ハ營業收益稅ノ改正ガアリ、砂  
糖消費稅ハ砂糖消費稅ノ改正ト云フモノガ  
アル、然ルニ減稅案ト云フモノヲ御出シニ  
ナツテ、……斯ンナ減稅案ナント云フ法律ガ  
何處ニアルノカ、私ハマダ不幸ニシテサウ  
云フモノヲ見テ居リマセヌ、是ハ私共ノ手  
稿モノナラバ大贊成デアルガ、何レ此點ハ  
閣内デ主張サレテ、取テ置カレル方ガ宜イ  
デヤナイカ、此減稅モ眞ニ國民ノ減稅ニナ  
位失シテモ、海軍大將ト云フヤウナ榮譽アル  
地位ニ居ル人ハ、何トモナイト思ヒマスカ  
ラ、此海軍ノ財源ヲ留保スル爲ニ、大イニ  
向ウデハドウカト云フト、向ウデハ日本ニ  
居ルガ、ソレハ向ウハ空氣ノ好イノハ當リ  
前デアル、日本ヲトチメルノニ都合ガ好  
クナッタカラ、向ウノ空氣ガ好イノデアツテ  
ガアルト思ヒマス、今ノ政府ノ人ハ、非常  
ニ之ヲ成功ダ、亞米利加ヤ英國ノ連中ガ日  
本ノ者共ニ對シテ大變好イ感ジヲ持ツテ居  
ルト言、テ居ラレルガ、誰デモ喧嘩ラシテ勝  
テサウニ都合好クナレバ、其相手ニ對シテ  
好イ感ジヲ持ツシ、ソレガ又アベコベニ負  
ケサウナコトニナレバ、惡イ感ジニナルコト  
ガ、是ハ私ハ詳シイコトハ言ハヌガ、是ハ  
増スコトニナル、サウシテ増シタ上ニ、地  
方稅トシテ附加稅ノ出來ナ、イモノハ戸數別  
ニ持ッテ行、テ掛ケテ、從來ノモノヲ取ルノ  
デアリマスカラ、國民全般トシテハ一錢一  
厘モ減稅ニハナ、テ居ラヌ、減稅々々ト云  
テ述べ立、テ居ルガ、全クアレハ間違デヤナ  
シイ立場ニ立、テ居ラレルモノダト思フカ  
ラウト思フ、デアルカラ此點ハ、海軍大臣  
本人自身ハ好イ感ジヲ持ツシ、ソレガ又アベ  
コベニナレバ、惡イ感ジニナルコトニナレバ、  
其相手ニ對シテ好イ感ジヲ持ツシ、ソレガ又  
アベコベニナレバ、惡イ感ジニナルコトニナ  
レバ、國際汽船ニ預金部カラ貸シテ居ル金  
デハ、國際汽船ニ預金部カラ貸シテ居ル金  
ヲ、一般會計ニ肩替リラシヤウト云フ時ニ、  
會期ノ末日ノ十一時五十何分ニナツテモ質  
問ガ盡キナカツタ、私ハ二日カ三日ヤラシテ  
貰ヘバ、ソレデ終ルノデアリマスガ、私ガ  
サウ云フコトヲヤルト云フ前觸レデナイコ  
トハ、御承知置キヲ願ヒマス、今頃質問ハナ

ガ、何處ヲ見テモ斯ンナ減稅法案ト云フ法  
律ガナイノニ、減稅案、減稅案ト言、テ居  
ル、一體地租法ハ地租法ノ改正ガアリ、又  
營業收益稅ハ營業收益稅ノ改正ガアリ、砂  
糖消費稅ハ砂糖消費稅ノ改正ト云フモノガ  
アル、然ルニ減稅案ト云フモノヲ御出シニ  
ナツテ、……斯ンナ減稅案ナント云フ法律ガ  
何處ニアルノカ、私ハマダ不幸ニシテサウ  
云フモノヲ見テ居リマセヌ、是ハ私共ノ手  
稿モノナラバ大贊成デアルガ、何レ此點ハ  
閣内デ主張サレテ、取テ置カレル方ガ宜イ  
デヤナイカ、此減稅モ眞ニ國民ノ減稅ニナ  
位失シテモ、海軍大將ト云フヤウナ榮譽アル  
地位ニ居ル人ハ、何トモナイト思ヒマスカ  
ラ、此海軍ノ財源ヲ留保スル爲ニ、大イニ  
向ウデハドウカト云フト、向ウデハ日本ニ  
居ルガ、ソレハ向ウハ空氣ノ好イノハ當リ  
前デアル、日本ヲトチメルノニ都合ガ好  
クナッタカラ、向ウノ空氣ガ好イノデアツテ  
ガアルト思ヒマス、今ノ政府ノ人ハ、非常  
ニ之ヲ成功ダ、亞米利加ヤ英國ノ連中ガ日  
本ノ者共ニ對シテ大變好イ感ジヲ持ツテ居  
ルト言、テ居ラレルガ、誰デモ喧嘩ラシテ勝  
テサウニ都合好クナレバ、其相手ニ對シテ  
好イ感ジヲ持ツシ、ソレガ又アベコベニ負  
ケサウナコトニナレバ、惡イ感ジニナルコト  
ガ、是ハ私ハ詳シイコトハ言ハヌガ、是ハ  
増スコトニナル、サウシテ増シタ上ニ、地  
方稅トシテ附加稅ノ出來ナ、イモノハ戸數別  
ニ持ッテ行、テ掛ケテ、從來ノモノヲ取ルノ  
デアリマスカラ、國民全般トシテハ一錢一  
厘モ減稅ニハナ、テ居ラヌ、減稅々々ト云  
テ述べ立、テ居ルガ、全クアレハ間違デヤナ  
シイ立場ニ立、テ居ラレルモノダト思フカ  
ラウト思フ、デアルカラ此點ハ、海軍大臣  
本人自身ハ好イ感ジヲ持ツシ、ソレガ又アベ  
コベニナレバ、惡イ感ジニナルコトニナレバ、  
其相手ニ對シテ好イ感ジヲ持ツシ、ソレガ又  
アベコベニナレバ、惡イ感ジニナルコトニナ  
レバ、國際汽船ニ預金部カラ貸シテ居ル金  
デハ、國際汽船ニ預金部カラ貸シテ居ル金  
ヲ、一般會計ニ肩替リラシヤウト云フ時ニ、  
會期ノ末日ノ十一時五十何分ニナツテモ質  
問ガ盡キナカツタ、私ハ二日カ三日ヤラシテ  
貰ヘバ、ソレデ終ルノデアリマスガ、私ガ  
サウ云フコトヲヤルト云フ前觸レデナイコ  
トハ、御承知置キヲ願ヒマス、今頃質問ハナ

コトヲ……此質問應答デハ、此次ハ何大臣ニ行カレタラ宜クハナイカト云フヤウナコトヲ言ハレル御方ガアリマスガ、海軍大臣ナドハ初メカラ終ヒマデ應答ヲ願ハナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、私ハ決シテ質問封ジノヤウナコトハヤリマセヌ……贊成イタシマセヌガ、ソレヲ早ク解決シヤウトスレバ、ソレハ簡単ニアナタノ御言葉一ツシテ此處へ毎日々々來テヤラヌデモ宜イノデ解決ガ付イテシマフ問題デアル、汎水出シテ此處へ毎日々々來テヤラヌデモ宜イノデハナイカト云フヤウナ考ガアルノデスガ、率直ニ……水野サンハ率直ニト言ハレマシタガ、私ハ素裸ニナッテヤッテ貰へバ早く片ガ付クト思フ、サウ云フ意味デアルカラ、其喰違ノアッタ點ト今ノ點トヲツキ混ゼテ御返事ヲシテ貴ヒタイ、ソレカラ第三ノ澤山アル將校ノ中デアルカラ、サウ云フコトヲ考ヘテ居ル者モアルカモ知レヌ、斯ウ云フコトデアリマスガ、ソレハアナタガ海軍大臣ニナッテカラハ多少取返シタノデアルカラ、サウデセウガ、財部サンノ大臣ノ時ニハ、何ト言々テ居リマシタカ、海軍部内ニ澤山將校ガ居ルト云々テモ、アノ人ヲ褒メタ將校ハ一人モナイ、殆ド誰デモ、今度ノヤウナ始末ハ大失敗デアル、アンナ馬鹿ナコトヲシテ居ルト言ウテ、或ハ僕ノ所ニ寄

○國務大臣(男爵安保清種君) 今ノ森田サカニ重ネテノ御尋ニ御答へ致シマスガ、先程申シマシタ中デ、財源ノコトニ付テ、其程申シマシタ中デ、財源ノコトニ付テ、其

リモセズニ歸ダ、寄テモ合セル顔ガナイカラ寄ラナイト云フヤウナ話モアルシ、是ハ迎モ部内デモ、誰デモ、我國ヲ任セル海軍大臣ドコロデヤナ、海軍大將トシテモムヅカシイデヤナ、イカトサヘ考ヘラレタト云フ位デ、今日ハ士氣ガ多少回復サレタデアラウケレドモ、マダ今日斯ウ云フ風デアルカラ、全然回復シテ居ルモノト思タラ、私ハ間違ヒヂヤナイカト思フ、一層海軍大臣ハ努力サレテ、眞ニ軍人ガ左様ナコトヲ口ニセヌヤウニ、肚ノ底ハ負ケルト思フテ居シテモ、口ニ出シテハイケマセヌ、最後マデ、ドンナコトガアッテモ、勝テ見セルト云フ勇氣ト元氣ヲ、飽クマデ軍人ハ持ッテ居ラナケレバナラヌ、士氣ガ沮喪シテハイケナイ、サウ云フ將校ガアッタト思テモ、サウ云フ者ハ無カッタデアラウト言ウテ貰ヒタ伊ト云フコトガ一ツ、ダカラ其點ハヨク、將來ハ機會アル毎ニ、戦争ニ負ケヌヤウニ勇氣ト云フモノニ付テハ、外國ノ狀況ニ依ルト云フコトヲ申上ゲマシタヤウニ、權利行使ナケレバ總テ條約ハ破壊シナケレバナラヌ、ト云フヤウナ意味合ニモ至リ兼ネルノデ、其邊ハ色ニ幾微ノ關係ガアルト思ヒマス、ソレカラ一番終ヒノ士氣ノコトニ付テハ、是ハ森田サンノ海軍ニ對スル御忠言トシマシテ、謹シテ承ッテ置キマス

○森田福市君 二ト三トノ問題ハ、大抵ノドノ位ノ分量ヲヤルカト云フコトガ分ラヌカラ、先づ相當要ルダラウカラ、チヨット此位取テ置イテ貰ハウカト云フヤウナ今ドコトガ多少ノ喰違ヒガアルコトハ已ムヲ得ヌ、併シ多少チヤナ、當時新聞ハ軍令部長ト時ノ海軍大臣代理トノ間ハ大變ナ……少々ドコロデハナ、大キナ喰違ヒガ出來

論其計畫ヲ立テタ場合ニ、其最善ヲ盡スト云フ意味カラ、其時ト云フヤウナ意味ヲ申テ、確カ坂本男爵ニ對シテモ大藏大臣ガスルト云フバカリデナク、是ハモウ豫算委員會ニ於點ニ付テ答ヘラレタト思ヒマスガ、矢張リ概計表ニハ上シテ居ラヌガ、今日カラ昭和十一年度以前ニ於テ其計畫ヲヤラナクチヤナラヌト云フコトヲ頭ニ置イテ、出來ルダケ講ジテ、段々ソコニ、今日概計表ニ上シテ居ラヌケレドモ、方法ヲ取ルト云々テ居リマシタ、ソコハ一ツ御含ミヲ願ヒタイト存ジマス、ソレカラ尙ホ要ルモノハ取ッテ置カナケレバナラヌデヤナイカト云フヤウナコトハ、幾度モ申上ゲマシタヤウニ、權利行使ナケレバ總テ條約ハ破壊シナケレバナラヌ、ト云フヤウナ意味合ニモ至リ兼ネルノデ、其邊ハ色ニ幾微ノ關係ガアルト思ヒマス、ソレカラ一番終ヒノ士氣ノコトニ付テハ、是ハ森田サンノ海軍ニ對スル御忠言トシマシテ、謹シテ承ッテ置キマス

所デ又後日ニ讓ルコトトシテ、政府ノヤルコトガ多少ノ喰違ヒガアルコトハ已ムヲ得ヌ、併シ多少チヤナ、當時新聞ハ軍令部長ト時ノ海軍大臣代理トノ間ハ大變ナ……少々ドコロデハナ、大キナ喰違ヒガ出來

テ大騒ギガアツタノハ、御承知ノ通リデアリマス、多少ドコロデハナイ、ソコノ所ハ論ジマセヌガ、財源ノ問題ハ承知セイト仰シヤルガ、ソレガ分ラズノ承知ナラバ承知シテ宜イガ、分<sup>フ</sup>テ承知ハ難カシイ、海軍大臣ノ仰シヤルノハ、財源ハ、ドウ云フ形ノモノヲ、ドウ云フ量ヲ造ルカ分ラヌノデアルカラ、今カラ金ヲ取<sup>フ</sup>テ置カヌデ宜イト斯ウ私ハ聽イタノデスガ、サウスルト第二次補充計畫ト云フモノハ無イト現在假定シテ居ルノカ、有ルモノナラバ先キデヤラウ、ドンナ家ヲ建テヤウカ、鐵筋「コクンリート」ニスルカ、煉瓦造ニスルカ、又木造ニスルカ分ラヌガ、兎ニ角昭和十年カラ建テヤウト云フナラバ、凡ソ坪當リ幾ラト云フ財源ハ、取<sup>フ</sup>テ置カナケレバナラヌ、デアルカラ海軍大臣ノ仰シヤルヤウニ、第二次計畫ハ必要デアル、併シ形ト數量ガ分ラヌノデアルカラ、金ノ計算ハ出來ナイ、如何ニモ曖昧ノヤウニ私ハ思ハレルノデアリマス、十年計畫ノ概計表ニハサウシテ載<sup>フ</sup>テ居ラヌ、今ノ大藏大臣ガ責任ヲ負フカラ宜イト云<sup>フ</sup>テモ、私ハ此點ヲ……時ノ大藏大臣モニナルノデアルガ、若シ今概計表ニ這入<sup>フ</sup>テナイト假定スル、サウシタ場合ニ今ノ大

藏大臣ガ昭和十一年マデ現在ノ椅子ニ居ラレ、アナタガ居ラレテ、兩方ガ居ラレバ誠ニ結構ナコトデス、口約束デモ紳士ト紳士ノ約束デアリ、閣僚ト閣僚ノ御約束デアルカラ間違ヒハナイ、ケレドモ昭和十一年十二年ニナツタ時ニ、現在ノ井上大藏大臣ガ總理大臣ニデモナラレテ居レバ、マダ宜イガ、ドノ大臣ニモナラレズニ居タ場合、アナタガ居ラレヌ場合、概計表ニ這入<sup>フ</sup>テ居ラス場合、出來ルデアリマセウカ、サウシテ内閣モ若シ更<sup>フ</sup>タ場合ニハ、ドウデアリマセウカ、ソレヨリモハキリシテ置カレタ方ガ完全デヤナイカ、空ニシテ置イタンデハ何ニモナラヌ、ソコデ私ハ國防ノ偉イ方ミノ論ズル重點デハナイカト私ハ思ハレル、其點ガハキリシテ來サヘスレバ宜イノデ……其點ヲ曖昧ノ中ニ諒承セイト仰シヤテモ無理デヤナイカト思フ、私ハ海軍大臣ト大藏大臣ト相談シテヤラニ好イ分別ガアレバ、何ナリトアナタノ思フ通リノコトヲ、大藏大臣ト相談シテヤラレバ宜イ、即チ何ト云フ字ハ何ト何トニ依<sup>フ</sup>テ何ニナルノカ、ソコガハキリシテ來レバ宜シイ、今ノヤウニ何ニモナクチヤイ段ヲシテ其内容ノ充實ヲ圖ルモノデアリマスガ、國家ノ財政ヲ掌<sup>フ</sup>テ居ル大藏省ノ偉イ方ミガ、斯ウ云フモノヲ作<sup>フ</sup>タト云フコトハ、不思議デ堪ラヌ、本氣デ真ニ是ガ宜イト思<sup>フ</sup>テヤツタモノカ、次ノ選舉ノ道具ニ、政爭ノ具ニ供スル爲ニ、此減稅案ヲ利用スル爲ニ御企テニナツタカ、ドチラカ知リマセヌガ、減稅ヲスル時期デアルカ時期デナインコト云フコトハ、御考ヘニナラナケレバナルカラ安心セイト仰シヤ<sup>フ</sup>テモ、人間デアリマス、生身ノ人間デアリマスカラ、サウ云フヤウナコトガ二人ノ間ニアツタダケデ、實行出來ルモノガアッテ、計畫ガアッテ、概計表ト云フモノガアッテ、計畫ガアッテ、其計畫ノ財源ガ出來テ居レバ、今ノ大藏大

臣ガ居ラヌデモ、今ノ海軍大臣ガ居ラヌデモ、其時期ガ來レバ實現サレルコトハ易々タル問題デアリマス、ケレドモ只今ノ大臣同士ノ口約束デ以テ、ソレデ國民ノ代表者ニ承認セイト云フ意味カモ知レナイガ、頭レルデアリマセウカ、私ハ其點ハ無言ノ中ガ惡イカラ矢張リハキリシテ來ナイト分ラヌノデアルカラ、今少シ私ハ其點ハ一ニ承認セイト云フ風ニ此減稅ヲナサラヌガ、ドノ大臣ニモナラレズニ居タ場合、アナタガ居ラレヌ場合、概計表ニ這入<sup>フ</sup>テ居ラス場合、出來ルデアリマセウカ、サウシテ内閣モ若シ更<sup>フ</sup>タ場合ニハ、ドウデアリマセウカ、ソレヨリモハキリシテ置カレタ方ガ完全デヤナイカ、空ニシテ置イタンデハ何ニモナラヌ、ソコデ私ハ國防ノ偉イ方ミノ論ズル重點デハナイカト私ハ思ハレル、其點ガハキリシテ來サヘスレバ宜イノデ……其點ヲ曖昧ノ中ニ諒承セイト仰シヤテモ無理デヤナイカト思フ、私ハ海軍大臣ト大藏大臣ト相談シテヤラニ好イ分別ガアレバ、何ナリトアナタノ思フ通リノコトヲ、大藏大臣ト相談シテヤラレバ宜イ、即チ何ト云フ字ハ何ト何トニ依<sup>フ</sup>テ何ニナルノカ、ソコガハキリシテ來レバ宜シイ、今ノヤウニ何ニモナクチヤイ段ヲシテ其内容ノ充實ヲ圖ルモノデアリマスガ、國家ノ財政ヲ掌<sup>フ</sup>テ居ル大藏省ノ偉イ方ミガ、斯ウ云フモノヲ作<sup>フ</sup>タト云フコトハ、不思議デ堪ラヌ、本氣デ真ニ是ガ宜イト思<sup>フ</sup>テヤツタモノカ、次ノ選舉ノ道具ニ、政爭ノ具ニ供スル爲ニ、此減稅案ヲ利用スル爲ニ御企テニナツタカ、ドチラカ知リマセヌガ、減稅ヲスル時期デアルカ時期デナインコト云フコトハ、御考ヘニナラナケレバナルカラ安心セイト仰シヤ<sup>フ</sup>テモ、人間デアリマス、生身ノ人間デアリマスカラ、サウ云フヤウナコトガ二人ノ間ニアツタダケデ、實行出來ルモノガアッテ、計畫ガアッテ、概計表ト云フモノガアッテ、計畫ガアッテ、其計畫ノ財源ガ出來テ居レバ、今ノ大藏大

臣ガ居ラヌデモ、今ノ海軍大臣ガ居ラヌデモ、其時期ガ來レバ實現サレルコトハ易々タル問題デアリマス、ケレドモ只今ノ大臣同士ノ口約束デ以テ、ソレデ國民ノ代表者ニ承認セイト云フ風ニ此減稅ヲナサラヌガ、ドノ大臣ニモナラレズニ居タ場合、アナタガ居ラレヌ場合、概計表ニ這入<sup>フ</sup>テ居ラス場合、出來ルデアリマセウカ、サウシテ内閣モ若シ更<sup>フ</sup>タ場合ニハ、ドウデアリマセウカ、ソレヨリモハキリシテ置カレタ方ガ完全デヤナイカ、空ニシテ置イタンデハ何ニモナラヌ、ソコデ私ハ國防ノ偉イ方ミノ論ズル重點デハナイカト私ハ思ハレル、其點ガハキリシテ來サヘスレバ宜イノデ……其點ヲ曖昧ノ中ニ諒承セイト仰シヤテモ無理デヤナイカト思フ、私ハ海軍大臣ト大藏大臣ト相談シテヤラニ好イ分別ガアレバ、何ナリトアナタノ思フ通リノコトヲ、大藏大臣ト相談シテヤラレバ宜シイ、今ノヤウニ何ニモナクチヤイ段ヲシテ其内容ノ充實ヲ圖ルモノデアリマスガ、國家ノ財政ヲ掌<sup>フ</sup>テ居ル大藏省ノ偉イ方ミガ、斯ウ云フモノヲ作<sup>フ</sup>タト云フコトハ、不思議デ堪ラヌ、本氣デ真ニ是ガ宜イト思<sup>フ</sup>テヤツタモノカ、次ノ選舉ノ道具ニ、政爭ノ具ニ供スル爲ニ、此減稅案ヲ利用スル爲ニ御企テニナツタカ、ドチラカ知リマセヌガ、減稅ヲスル時期デアルカ時期デナインコト云フコトハ、御考ヘニナラナケレバナルカラ安心セイト仰シヤ<sup>フ</sup>テモ、人間デアリマス、生身ノ人間デアリマスカラ、サウ云フヤウナコトガ二人ノ間ニアツタダケデ、實行出來ルモノガアッテ、計畫ガアッテ、概計表ト云フモノガアッテ、計畫ガアッテ、其計畫ノ財源ガ出來テ居レバ、今ノ大藏大

是ハ總理大臣ニ聽ク積リデアリマスガ、海

軍大臣ハ閣僚ノ一人デアリマスシ、減稅案

ニ贊成ナス、タノデアリマス、贊成ナス

トスル時期デアルト思ハレルカ否ヤ、個人

トシテノ意見デモ結構デアリマス、又海軍

大臣トシテノ御意見ナラ尙ホ結構デアリマ

ス、私ハドウモアナタ方ノヤウナ偉イ御方

ガ御寄リニナッテ、此減收ノ場合ニ減稅ヲス

ル、率ヲ下ゲル、率ヲ下ゲルニシテモ額ニ

於テ二千五百万圓ノ金ヲ、稅率ニ依テ下ゲ

ヌデモ、自然ニ減<sup>テ</sup>來マス、昭和六年度ノ

實行豫算ヲ編成シテ、何百万圓ト云フモノ

ヲ、議會ガ濟ンデカラ大藏省ニ通知ノ行ク

ト云フコトハ、火ヲ賭ルヨリモ明カナコト

ヲ言明イタシマス、デアリマスカラ、海軍

大臣ハ此減稅案ニ御贊成ナサルノハ、一體

何ヲ根據ニシテ今ガ減稅ノ時期ナリト思ハ

レルノデアルカドウカ、或ハ倫敦條約ニ依

テヤル、是ハモウ失敗ト言フモ言ハヌモナ

テヤル、ソレニモ拘ハラズ海軍大臣ガ減稅案ニ

贊成シタト云フコトハ、甚ダ其意ヲ得ヌト

思フノデアリマス、其點ヲツ伺ヒタイ

○國務大臣(男爵安保清種君) 森田サンノ

三度御尋ネノ事ニ付テ御答ヲ致シマスガ、

最初ノ唯口約束デ何處カラカ財源ガ出テ來

ルダラウ、ソレニ信賴ヲシテ居ルカト云フ

意味デアリマシタガ、此處デ先程晝後ニ依

リマシテカラ直<sup>テ</sup>御話ヲ致シマシタ中ニ、

ソレ等ハ十分盡シテ居ルト私ハ存ジテ居リ

マシタ、口約束デアラウガ何ダラウガ、サ

ウ云フコトヲ當ニシテ居ラレル譯デハ無論

ナイノデアリマス、其時ニ實際ノ條約ニ照

シテ、國防上是非トモ是ダケノ兵力ガ必要

デアルト云フコトマデハ分<sup>タ</sup>、唯内

容ガ分カラヌダケ、サウシテ今ノ其時是非

ナモノデアルト云フコトマデハ分<sup>タ</sup>、唯内

費ヲ檢約シテデモ、必要ナモノデアルナラ

バ、時ノ大藏大臣ガ出シテ吳レル、其必要

ナモノデアルト云フコトマデハ分<sup>タ</sup>、唯内

辯ニ依<sup>タ</sup>テ見ルト、企テル時ニハ、他ノ行政

ソレ等ハ十分盡シテ居ルト私ハ存ジテ居リ

リマシテカラ直<sup>テ</sup>御話ヲ致シマシタ中ニ、

ソレ等ハ十分盡シテ居ルト私ハ存ジテ居リ

リマシテカラ直<sup>テ</sup>御話ヲ致シマシタ中ニ、

ソレ等ハ十分盡シテ居ルト私ハ存ジテ居リ

リマシテカラ直<sup>テ</sup>御話ヲ致シマシタ中ニ、

ソレ等ハ十分盡シテ居ルト私ハ存ジテ居リ

○森田福市君 マア今カラ先キハ一層議論

ニナルヤウニ思ヒマスガ、海軍大臣ノ御答

辯ニ依<sup>タ</sup>テ見ルト、企テル時ニハ、他ノ行政

ソレ等ハ十分盡シテ居ルト私ハ存ジテ居リ

リマシテカラ直<sup>テ</sup>御話ヲ致シマシタ中ニ、

第二次計畫モ必要デアル、昭和十一年カラ

頭ヲ出スコトハ、スル迄モナイ、十一年度

ハ財源ハナシ、其財源ハ其時ノ場合ニ依<sup>タ</sup>テ

捻出シテ吳レルモノデアルト云フ程度ニ承

知シテ置ク、是ヨリ外ニ私ハ途ハナイト考

ヘルノデアリマス、海軍大臣ニ對スル質問

ガ終<sup>タ</sup>譯デモ何デモアリマセヌ、今後又考

ヘテ、質問要項ヲ考ヘ、ソレカラ改メテ質

問シマスガ、今日ハ海軍大臣ノ質問ハ此程

ガ終<sup>タ</sup>譯デモ何デモアリマセヌ、今後又考

ヘテ、質問要項ヲ考ヘ、ソレカラ改メテ質

葉ス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 只今ノ御言葉

ハ、海軍大臣ガ控ヘテ居ラレマスカラ、海

軍大臣カラ傳言ガアルコト信ジテ居リマ

ス

## ○森田福市君 ソレデハドウゾ海軍大臣力

ラ御言傳テ下サッテ、イツノ會議ニ出席シテ  
答ヘテヤル……イット限タ譯デアリマセ  
ヌ、併シ私ハ此點ヲ明カニシテ置キマス、  
健康ガ云々、健康ノ惡カッタノデ、健康ガ恢  
復サレルマデ代理ヲ御置キニナッテ、サウシ  
テ恢復サレタカラ代理ヲ解イテ此議會ニ御  
出マシニナッタ、ソレヲ又病人上リダカラ勞  
ハルヤウニセウト云フコトデアリマスガ、  
ソレハ一體誰ガ言フコトデアリマスカ、國  
政ヲ審議スル場合、病人揚ゲクダカラサシ  
テハイケナイ、ソレデハ議員ハ誰ヲ擱マヘ  
テ質疑ヲスルカ、議員ハ總理大臣ト質問應  
答ヲ重不テ了解ヲ得レバ宜イ、個人ノ情ト、  
公人トシテノ立場ハ、全然別ノモノデアル  
ト云フコトヲ御傳ヘ願ヒタイ、勞ハルトカ  
勞ハラストカ、國家ノ國政ヲ審議スルニ當  
ソレハ大變誤タ考デアリマス、其コトヲ附  
加ヘテ御傳ヘ願ヒマス

## ○國務大臣(男爵安保清種君) 今ノ森田サ

ンノ御話ハ、首相ト内務大臣ト大藏大臣ノ  
三人デスカ

## ○森田福市君 外ノ大臣ハ毎日出テ居ラレ

マスカラ、私ノ願フノハ總理大臣デアリマ  
ス

## ○委員長(伯爵柳澤保惠君) 内務大臣ハ明

後日カラ出ラレルサウデアリマス、大藏  
大臣ハ衆議院ノ本會議ノ關係上、三時過ギ  
デナイト出ラレヌト云フコトヲ申シ出ラレ  
マシタ……モウ海軍大臣ニ御質問ゴザイマ  
セヌカ、或ハ暫時休憩イタシマセウカ

## ○子爵大河内輝耕君 チヨット將來ノ色ミ

財源ノ事ニ付テ御尋ネ致シマスガ、此邊ハ  
マニア度々繰返サレタ問題デアリマスガ、私

ハ將來ノ事モゴザイマスノデ、茲デ海軍大  
臣ノ御意見ヲ簡單ニ伺ッテ置キタイ、此間ノ

軍縮會議デ、海軍ノ方々ガ外國ニ對スル比  
率ノ爲ニ非常ニ御盡力ニナリマシタコト

ハ、是ハ國民一同感謝シテ居リマス、又茲  
デ皆サンカラソレニ付テノ色ミ御質問應答

ノアルコトモ、非常ナ熱心カラ來ラレタコ  
トト思ヒマスガ、唯私少シ、私ノ記憶ガ材

料ガ足リナインカモ知レマセヌケレドモ、  
チト腑ニ落チヌト思フノハ、ア、云フ倫敦

條約ノヤウナモノヲヤラレル場合ニハ、全  
トニ付テノ海軍當局ノ努力ガ、ドウモ十分

體ノ數量ニ付テ、モット少ナクスルト云フコ

トニ付テノ海軍當局ノ努力ガ、ドウモ十分

思ハレル、サウ云フコトハ事實ナカッタカ

知ラヌガ、……勿論潛水艇ノ如キモノハ一  
定ノ數量ヲ持タナケレバナラヌカラ、之ヲ

絶對ニ止メルト云フコトハ、是ハ許サレマ  
ス

## ○國務大臣(男爵安保清種君) 大河内子爵

バ、日本ハ減シテモ宜イ、外ノ國ガ無ケレ  
スマイ、併シ主力艦トカ云フヤウナモノハ、  
マシタ……モウ海軍大臣ニ御質問ゴザイマ  
セヌカ、或ハ暫時休憩イタシマセウカ

専門家ニ御意見ヲ伺ッテモ、外ノ國サヘ減セ  
バ、日本ハ無クトモ宜イト云フ御說ヲ聽イ

テ居ル、ソレナラバ將來ノ計畫ニシテモ、  
又此次ノ會議ノアル時ニシテモ、出來ル丈

比率ヲ持タナケレバナラヌコトハ勿論デア  
ルガ、サウデナク、外國ノ比率ト云フモノ

ハ暫ク我ミノ言フ通りニナルモノトシテ、  
サウシテ總數量ハ出來ル丈減シテ行クト云

フヤウニ、モ少シ努力シテ戴キタイト思フ、  
是ハ前カラ例ガアルコトデアリマシテ、日

露戰爭以後ドウモ、モ少シ亞米利加アタリ  
ト能ク協調シテヤッタナラバ、日露戰爭以後

ノ海軍ガアンナニ膨脹シテシマッテ、亞米利

亞米利加ノ計畫ハ三十三艘ノ八時巡洋艦ヲ

持ツト云フコトニナッテ居タガ、英吉利ト  
モ話合ッテ二十一艘トスルト云フ所マデ下ッ

テ居リマシタノハ、倫敦會議ノ初メデアリ  
マスガ、倫敦會議ニ臨ムニ當リマシテ、日

本デハ、日本ノ全權ノ所謂「モットー」ト致  
シマシテ「レダクション」ト云フコトヲ非常

ニ主張イタシノデアリマス、總數量ヲ下ゲ  
ルト云フコトヲ矢張リ立前ノ一つ致シマ

シタノデ、ソレデ亞米利加ノ實際ノ交渉ニ  
當リマシテモ、亞米利加ノ八時巡洋艦ヲ十

五艘ニセヌカ、サウスレバ日本ハ全ク現在

ノデツモ造ラヌデ、ソレデ七割若干ニナ

ハ分リ切ッタコトデ、如何ナル點カラ見テモ  
絶對ニ數量ガ少ナイト云フコトハ望マシイ  
コトデ、誰モ反對スル者ハ無カラウト思ヒ  
マスケレドモ、此點ハ海軍當局ハ如何ニ御  
考ヘニナリマスカ

## ○國務大臣(男爵安保清種君) 大河内子爵

ハ、日本ハ減シテモ宜イ、外ノ國ガ無ケレ  
スマイ、併シ主力艦トカ云フヤウナモノハ、  
ト存ジマス、是ハ海軍ノ要求スル所ハ、潛  
水艦ハ今モ御觸レニナリマシタガ、保有量  
ト云フコトニ致シマシタガ、其以外ノモノ  
ハ八時巡洋艦ニ致シマシテモ、又六時巡洋  
艦及驅逐艦ニ致シマシテモ、所謂英米ノ七  
ト云フコトニ致シマシタガ、其以外ノモノ  
ハ八時巡洋艦ニ致シマシテモ、又六時巡洋  
艦及驅逐艦ニ致シマシテモ、所謂英米ノ七  
割ヲ持テバ宜イト云フコトデアッテ、ソコデ  
亞米利加ノ計畫ハ三十三艘ノ八時巡洋艦ヲ  
持ツト云フコトニナッテ居タガ、英吉利ト  
モ話合ッテ二十一艘トスルト云フ所マデ下ッ  
テ居リマシタノハ、倫敦會議ノ初メデアリ  
マスガ、倫敦會議ニ臨ムニ當リマシテ、日

本デハ、日本ノ全權ノ所謂「モットー」ト致  
シマシテ「レダクション」ト云フコトヲ非常

ニ主張イタシノデアリマス、總數量ヲ下ゲ  
ルト云フコトヲ矢張リ立前ノ一つ致シマ

シタノデ、ソレデ亞米利加ノ實際ノ交渉ニ  
當リマシテモ、亞米利加ノ八時巡洋艦ヲ十

五艘ニセヌカ、サウスレバ日本ハ全ク現在

ノデツモ造ラヌデ、ソレデ七割若干ニナ

ルノダカラ、ソレデ十八艘ニ是非スルト云  
ノヲ、十五艘ニセヌカト云フコトハ、可  
ナリ長イ間ノ交渉ニアリマシタヤウナ次第  
デ、日本ノ立場ト致シマシテハ、此度ノ倫  
敦會議ニ於キマシテモ、極力一番上ノ數字  
ハ減ラサウ、サウスレバ從ツテ日本ノ持分モ  
減ルガ、此率ハ矢張リ最初ノ主張通リニ行  
ク、斯ウ云フ立前ヲ以テ終始一貫シテ主張  
イタシマシタノデ、丁度大河内子爵ノ御述  
ベニナツタ趣意ヲ以テ行ツテ居リマシタノ  
デ、此後ノ會議ニ於キマシテモ、恐ラク其  
點ニ於テハ變ル所ハナカラウカト存ジマス  
次第アリマス、尙ホ後ノ日米ノ競争ガ段  
段アッテ、日本ガ八八艦隊ヲヤルト云フコト  
ニナリマシタノモ、其以前ニ於テ何等カ話  
合ヲ付ケレバ宜カタト云フコトモ、御尤ノ  
事柄ト存ジテ居リマス

皆様ト精神ハ違フカ知リマセヌガ、大藏大臣ハ豫算委員會ニ於テハ、六年度ハ勿論其先キ十年度迄ハ金ガ無イト云フコトヲ言ハ軍大臣ハ、九年頃ニナルト外國ノ狀況ヲ見テ或ハ計畫ヲ立テナケレバナラヌコトガアル、ソレハソレダケノコトヲ計ラフト云フ御決心ノヤウニモ伺フ、無論大藏大臣デナイカラ、自分で御金ヲドウスルト云フコトハ出來マスマイガ、兎モ角サウ云フ御趣意ノヤウニ承ッタノデアリマスガ、ソレハ無論私共ニ於キマシテハ、今日ノ概計表ニ……將來ノ概計表ニ於テ其金ガ無イカラト云フテ、私ハ苦情ハ申シマセヌ、其時ニ至ダタナラバ其時ノ大臣ガ必ズソレダケノ責任ヲ負ウテ始末ヲシテ掩ヘルダラウト思ヒマスガ、ソレヲ強ヒテ私ハ言フノデハアリマセヌ、併ナガラ先刻來井上男爵ナリ其他ノ御質問ノアツタノハ、即チ國防上ノ不安ト云フ質問ノアツタノハ……私共ト多少意見ハ相ラレタ上ニ於テハ……私共ト多少意見ハ相違致シマスガ、心配セラレタコトニ付テハ私モ同論デアリマスガ、一方デハ金ハ無イト云ハレル方ガアル、又一方デハ金ハドウニカシテ云フ風ニナッテ、其邊ガマダ此間中カラノ質問ノ點ニ於テ、一致シテ居ラヌ

ヤウニ思ヒマスガ、詰リ先刻森田君モ御話  
ガアリマシタ如ク、詰リ概計表ノ中ニ於テ  
モ、即チ是ミノ臨時ノモノガ無クナル、繼  
續費ノ契約ノモノガ無クナルト云フノデ、  
ソレハ九年頃ニ於テモ、十年頃ニ於テモ、  
其金ハドウニカ捻出サレルト云フ何ガアル  
ノデアリマスカ、十一年以後ノモノハ能クナル  
分ッテ居リマスガ、其前ノニ付テハ、大藏大臣  
臣ハ金ガギシヽデ出所ガナイヤウニ言ハ  
ニコチラガ國防上ニ安全ヲ期スル途ヲ取ラ  
ナケレバナラスト云フ上ニ於テハ要ルノデ  
アル、其點ガチヨット分リ惡イヤウデアリマ  
スガ、今大藏大臣ガ居ラレマセヌガ、海軍  
大臣ノ御答辯ヲ伺ッテ置ケバ宜イト思ヒマ  
ス

云フモノハ、萬難ヲ排シテ之ヲ調ヘルヤウニ  
スルト云フコトハ、言明ヲ致シテ居リマス  
ルノデアリマスルガ、私ガ今日、又其以前  
ニ於テモ申シテ居リマスル所ト、違テ居ル  
意味ハナイカノヤウニ私ハ了解致シテ居リ  
マス、ソレダケ御答へ致シテ置キマス

○藤田四郎君 尚ホ此機會ニ序ニ伺ツテ置  
キタイト思ヒマスルノハ、私ハ豫算委員會  
デモチヨット一言或ル機會ニ申シタノデゴ  
ザイマスルガ、先刻海軍大臣ノ御説明デハ、六年  
米國ナドハ此數年ノモノハ何スルガ、六年  
七年ニ瓦ルモノハ、繼續スルモノノ計畫ハ  
アチラニアルダラウガ、議會ノ協賛ヲ得テ  
居ラヌト云フヤウナ御話ガアッタノデアリ  
マスガ、海軍省即チ我ガ政府ニ於テハ、矢  
張リ此第二次計畫ヲモ、金サヘアレバヤラ  
ヌナラヌト、ソレガ當リ前ダト云フヤウナ  
御考デアルノデゴザイマセウカ、二年三年  
ノモノサヘアレバ、其先ノハ或ハ豫算ニ載  
セナイ……要求ヲ爲サヌ方ガ、各國ノ增艦  
競争ト云フモノヲ幾何カ防グト云フヤウナ  
カ、コチラガ昭和十一年度十二年度、十三  
年度マデノ増艦計畫ヲ豫算ニ計上スルコト  
ニナレバ、亞米利加モ亦其通リニシテ行ク

ト云フコトニ、互ニ競争シテ、倫敦條約範圍内ノ競争ヲ有リ切り盡スト云フコトニナルノデゴザイマセウカ、ソレハドウ云フ工合デアリマセウカ

○國務大臣(男爵安保清種君) 御答ヲ申上

ゲマス、亞米利加ハ御承知ノ通リ一ツノ計畫トシテ、或ル場合ニハ是ダケノ……何年カノ間ニ是ダケヲ造ルト云フ其案ヲ、議會ヲ通スト云フコトニハナッテ居リマス、サウシテソレニハ豫算ハ伴ツテ居ラナイノデアリマス、豫算ニハ毎年々々、今年ハ巡洋艦一艘ニ驅逐艦八艘潛水艦一艘ト云フヤウナモノノ豫算ヲ出シテ協賛ヲ經ル、斯ウ云フ趣意ニハナッテ居リマスル、唯英吉利ノ方モサウ云フ意味デアリマスルカラ、從テ此度日本ノハ昭和六年度ヨリ十一年度ニ亘ツテ、所謂千九百三十六年マデニ亘ツテ、一ツノ計畫ト云フモノガ豫算ヲ伴ツテ成立ツト云フコトニナルノデアリマスルケレドモ、英吉利、亞米利加アタリノハ、今年ノ必要ナモノダケヲ造ツテ居ル、併ナガラ海軍大臣アタリガ言明シテ居ルノハ大體此邊ノ數量デ毎年造ツテ行キタイト云フ風ノコトヲ言ヒ表ハシテ居ルニ過ギナインデアリマス、ソレノ言ヒ表ハシ方ヲ綜合イタシマスルト云フ

ヲ……條約全部ヲ行使スルト云フヤウニハ

見エマセヌ、併シ是ハ毎年々々ヤルノデアリマスルカラ、或ル時ニ非常ナル海軍論者ガ又局ニ立ツト云フヤウナ時代ニハ、一氣

呵成ニ非常ナ大々的ナ計畫ヲ立テルト云フコトモ、ソレハ有ルカモ知レマセヌケレドモ、大體今日ニ於テハ、サウ云フ意味ニナッテ居リマス、尙ホ日本ノ次ノ計畫ト云フヤ

ウナモノハ、ヤラヌデ濟ムト考ヘテ居ルカ、或ハソレヲ餘リ早ク立テシマフト、互ニ競争ニナリハセヌカト云フ意味ノコトハ、是ハサウ云フ傾モ起リ得ルコトト存ジマス、從テ第二次計畫ト云フモノヲドウ云フ

ス、從テ第一次計畫ト云フコトニ付キマシテハ、茲

デ先程カラ申シマスルヤウニ、亞米利加等ガ毎年々々是カラズツト行クノニ、ドウ云フ風ニ其權利ノ中ノ船ヲ捨ヘテ行クト云フコトガ、非常ニコチラノ次ニ計畫スペキモノトガ、サウ云フ意味デ今第二次計畫ヲヤラナ

ノ基礎ノ一部分ヲ爲ス譯デアリマスルカラ、サウ云フ意味デ今第二次計畫ヲヤラナ

ト御尋ネ致シタイ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ドウ云フコト

デスカ、唯速記ヲ止メテト云フト、事柄ガ分リマセヌカラ、命題ヲ仰シヤンバ御了解ガ早イト思ヒマス

ト御尋ネ致シタイ

○子爵大河内輝耕君 海軍ノ聲明ノコトニ付テ……

ト存ジマス

○藤田四郎君 私ガ御尋ヲシタ言葉ガ足リナンダカ知レマセヌガ第二次計畫ヲ止スコ

ガ又局ニ立ツト云フヤウナ時代ニハ、一氣

呵成ニ非常ナ大々的ナ計畫ヲ立テルト云フコトモ、ソレハ有ルカモ知レマセヌケレドモ、大體今日ニ於テハ、サウ云フ意味ニナッテ居リマス、尙ホ日本ノ次ノ計畫ト云フヤ

ウナモノハ、ヤラヌデ濟ムト考ヘテ居ルカ、或ハソレヲ餘リ早ク立テシマフト、互ニ競争ニナリハセヌカト云フ意味ノコトハ、是ハサウ云フ傾モ起リ得ルコトト存ジマス、從テ第二次計畫ト云フモノヲドウ云フ

ス、從テ第一次計畫ト云フコトニ付キマシテハ、茲

デ先程カラ申シマスルヤウニ、亞米利加等ガ毎年々々是カラズツト行クノニ、ドウ云フ風ニ其權利ノ中ノ船ヲ捨ヘテ行クト云フコトガ、非常ニコチラノ次ニ計畫スペキモノトガ、サウ云フ意味デ今第二次計畫ヲヤラナ

ノ基礎ノ一部分ヲ爲ス譯デアリマスルカラ、サウ云フ意味デ今第二次計畫ヲヤラナ

ト御尋ネ致シタイ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ散會決シマスガ、御二人デゴザイマスカ、二三人人ダト困リマスカラ……御多數ナラバ宜シ

トガ出來ルカト云フヤウナ意味ハ御尋ネシ

○馬場鍼一君 今日ハ大藏大臣ガ御出席ニナラヌヤウデスカラ、土曜日デモアリマスカラ、是デ散會ヲ願ヒタイ

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 御多數ナラバ

決シマスガ、御二人デゴザイマスカ、二三人人ダト困リマスカラ……御多數ナラバ宜シ

トガ出來ルカト云フヤウナ意味ハ御尋ネシ

〔速記中止〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 速記開始

男爵井上 清純君

片岡 直溫君

藤田 四郎君

湯地 幸平君

馬場 鎌一君

後藤 文夫君

木村清四郎君

大橋新太郎君

森 平兵衛君

尾崎元次郎君

濱口儀兵衛君

田中 一馬君

小林 暢君

森田 福市君

國務大臣

大藏大臣 井上準之助君

海軍大臣 男爵安保 清種君

政府委員

大藏省主稅局長 青木 得三君

大藏書記官 川越 丈雄君

同 野津高次郎君

昭和六年三月二十二日印刷

昭和六年三月二十三日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局